

第四十六回帝國議會 衆議院

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案委員會會議錄(筆記)第一回

(三五)

委員會成立

本委員ハ大正十二年二月一日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

- 田中 隆三君 吉植庄一郎君 宮崎友太郎君
佐藤實太郎君 赤田 瑩一君 原田 十衛君
蓮井 藤吉君 熊谷 直太君 岩切 重雄君
阪上 貞信君 鈴木 隆君 大津淳一郎君
樋口 秀雄君 荒川 五郎君 高田 耘平君
野溝傳一郎君 鈴木久次郎君 山邑太三郎君

- 田中 隆三君 宮崎友太郎君 佐藤實太郎君
蓮井 藤吉君 熊谷 直太君 岩切 重雄君
阪上 貞信君 鈴木 隆君 樋口 秀雄君
鈴木久次郎君

○佐藤投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス
○宮崎委員ハ投票ヲ用キス委員長及理事ノ指名ヲ投票管理

者ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス
○佐藤投票管理者ハ宮崎君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ田中隆三君ヲ委員長ニ岩切重雄君高田耘平君野溝傳一郎君及山邑太三郎君ヲ理事ニ指名ス

〔田中隆三君委員席ニ着ク〕
○田中委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス
于時午前十時二十分

會議

大正十二年二月五日午後一時三十分開議
出席委員左ノ如シ

- 委員長 田中 隆三君
理事 岩切 重雄君 理事 高田 耘平君
野溝傳一郎君 理事 佐藤實太郎君
吉植庄一郎君 原田 十衛君
蓮井 藤吉君 熊谷 直太君 阪上 貞信君
鈴木 隆君 大津淳一郎君 樋口 秀雄君
荒川 五郎君 鈴木久次郎君

今五日委員山邑太三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松下祿二君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 文部大臣 鎌田 榮吉君
文部次官 赤司應一郎君
文部省普通學務局長 山崎達之輔君
文部省參事官 下村 壽一君
文部書記官 窪田 治輔君
文部書記官 伊藤 仁吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案(政府提出)
○田中委員長 是ヨリ市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、先ツ當局ノ御說明ヲ承テ、其後ニ審議ヲ進メタク存ジマス

○鎌田國務大臣 一ト通り説明ヲ致シマス、此市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案ニ付テ、改正ノ趣旨ヲ申述ベシト思ヒマス、從來小學校教員ノ俸給ニ充ツル爲毎年國庫ヨリ一千万圓ヲ支出シテ來タリ、デアリマスガ、小學校教育費ノ増加ト、市町村經濟ノ狀態トニ鑑ミ、國庫負擔金増額ノ必要ヲ認メ、大正十二年度豫算ニハ四千万圓ヲ計上致シ

タノデアリマス、又國庫支出ノ配當方法ハ、現行法ニ依レバ、總額ノ十分ノ一以內ヲ除キ、半額ハ市町村立尋常小學校ノ正教員及准教員ノ數ニ比例シ、他ノ半額ハ市町村ノ就學兒童ニ比例シテ、之ヲ市町村ニ交付スル規定デアリマス、然ルニ國庫支出金ノ配當ハ、教育上並ニ地方財政上、成ベク資力ノ弱キ所ニ厚クスルヲ適當ト認ムルニ依リ、今回國庫支出金ノ増額ニ際シ、市及町村ノ資力負擔等ノ關係ヲ參酌シ、市ト町村トノ間ニ或ル程度ノ等差ヲ設クルノ妥當ナルヲ認メ

總額ノ十分ノ一以內ヲ除キ、其三分ノ二ヲ市及町村ニ交付シ、其三分ノ一ヲ町村ニ交付スルト共ニ、資力其他ノ事情ニ依リ、特ニ必要ト認メタル市ニ對シテハ、ソレノ或ル程度ノ金額ヲ増加交付シ、以テ町村トノ均衡ヲ調節シヤウト存ジマス、又資力ノ薄弱ナル町村ニ對シテ、總額ノ十分ノ一以內ヲ増加交付スルトキハ、國庫支出金ノ増額ノ結果、適當ニ

之ヲ救済シ得ベキヲ以テ、此點ニ付テハ別ニ改正ノ必要ガアリマセヌガ、資力薄弱町村ノ外天災等特別ノ事情ニ依リ、教育費ノ負擔ニ特ニ困難ヲ感ズル町村ヲモ、右ノ金額ノ範圍ニ於テ救済スルコトニ改メタイト存ジマス、次ニ各市町村ニ對スル交付金額ノ算定標準モ、大體現行法ノ通り教員數及就學兒童數ニ比例スルヲ以テ適當ト認ムルモ、代用教

員ノ割合ハ町村殊ニ資力薄弱町村ニ多キ爲メ、町村ハ市ニ比シ、資力薄弱町村ハ普通町村ニ比シ、不利益ヲ免レザルニ依リ、今回教員數ハ一定ノ制限內ニ於テ新ニ代用教員數ヲモ加算シ、且ツ資力其他ノ事情ニ依リ、特ニ必要ナル市及町村ニ對シ、且ツ資力其他ノ標準ハ、勅令ヲ以テ規定スルコトニ改メヤウト存ジマス、何卒御審議ノ上、御協賛アラントヲ望ミマス

○大津委員 只今ノ御說明中ニ、市町村ノ財政ヲ斟酌シテ今回改正ヲ見タト云フノガ本旨デ、他ノ條項ニ付テハ、資力薄弱町村ノ財政救済ト云フヤウナ御言葉モアツタノデアリマス、一體今度三千万増額ヲシタト云フコトハ、市町村ノ財政救済ト云フ御趣意カラ出タノデアリマスガ、其點ヲ先ツ伺ヒマス

○鎌田國務大臣 御答致シマス、市町村ノ財政ヲ救済シテ、其負擔ヲ輕減スルコトガ、當面ノ趣意トナツテ居リマス、併シ結局教育ニ向テ充當スルモノデアリマスカラ、所謂教員給ノ一部ノ國庫負擔スルノデ、其以前ニ此金ヲ使フ譯デハナイ、併ナガラ教員給ヲ國庫負擔シマスレバ、自然町村ノ經濟ハ緩和サレル結果ニナリマス

○大津委員 只今ノ御說明ニ依レバ、小學校ノ改良向上ト云フコトハ一切御關係ハナイ、又町村ノ財政ヲ救済シテ、之ヲ小學校教員給ニ向ケルノデアルカラ、教育ノ經費トナルノデアルト云フト、救済ガ本旨ニナツテ、教育ノ改良向上ト云フコトハ御趣意デナイヤウニ思ヒマスガ、左様心得テ宜イノデスカ

○鎌田國務大臣 御答致シマス、當面ノ趣意ハ主トシテ町村ノ財政ヲ緩和スル事ニ向ケラレル譯デアリマスケレドモ、或ル町村ノ如キハ、教員給ノ不足スルガ爲メ、十分ナ教員ヲ聘スルコトガ出來ナイト云フガ如キ、是ハ之ニテ救ハレル譯デアリマシテ、要スルニ此金ハ教員給ニ向テ充當スルノデス、此金ヲ得タ爲メ、從來代用教員ニ甘シクナケレバナラヌモノガ、正教員ヲ聘スルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、矢張教育ノ爲メニナツテ居ル譯デアリマス

○大津委員 町村經濟ノ緩和ト云フコトハ結果デアリマス、國庫ガ金ヲ支出スル其筋道ハ、何ノ爲ニ支出スルノデアルカ、町村救済ノ爲デアルカ、教育ノ改良向上ノ爲デアルカ、蓋シ金ガ出レバ町村ノ經濟ガ救済サル、ハ事實デアリマスガ、文部省トシテハ、ドノ趣意デ斯ウ云フ金ヲ御支出ニナルノデアルカト云フコトヲ、文部大臣ノ御方針ニ付テ承リタイ

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案委員會會議錄(筆記)第一回 大正十二年二月五日

デアリマス、再應ノ御説明ニ依レバ、教育ノ改良向上ト云フコトノ爲デハナイ、町村財政ヲ緩和スルガ爲ニ救済スル爲ダト云フ仰セザアルト、内務大臣デモ御説明ニナルヤウナ御説明ト思ハレルノデアリマス、併ナガラサウ云フ趣意デアラバサウ承テ...

○鎌田國務大臣 尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、無論要スルニ共通ニナルコトデアリマシテ、前ニ之ガ町村ノ財政救済ニナル金、是ハ教育ノ改良ニ使フ金ト云フ、金ニ別ハナイノデアリマス、要スルニ町村ノ財政ヲ緩和シ、又ハ教育ノ程度ヲ向上セシムルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ教育費ニ使フテ、町村ノ全體ノ經費ニハ使ハナイト云フヤウナ、一方ニ偏シタモノト考ヘテ居ラナイノデアリマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○大津委員 是ハ只今ノ文部大臣ノ御説明ノ歸スル所ハ、同ジデアルト云フ、金サヘアレバ宜シト云フ金ノ問題デア、テ教育ニ對スル文部省ノ方針——文部省ノ趣旨トシテハ、ドウモ私ガ疑ヲ懐クノデアリマス、併シシテ言ヘバ議論ニナリマスカ、申サナイデ、一體小學校ノ教育費ナルモノハ、町村ヲ主トスルモノデアアルカ、國家ヲ主トスルモノデアアルカ、國家ハ補助ノ支出ヲスルモノデアアルカ、國家ハ同ジク國民教育ニ義務ノ背負テ居ルモノデアアルカ、此點ヲ今頃ニナッテ御尋ネスルノハ、抑、遅イヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ一應之ヲモ承テ置キテ思ヒマス

○鎌田國務大臣 御答ヲ致シマス、ソレハ要スルニ議論デアリマシテ、此金ノ支出ノ出發點ハ何處ニアルカト申シマスト云フト、大正七年ノ臨時教育會議ニ於キマシテ、國庫ハ教員給ノ半額ヲ標準トシテ交付金ヲ出ス、斯ウ云フコトカラ參ッテ居ルノデアリマス、其趣意ニ從ウテ今回ノ總額モ成立ッテ居ルノデアリマス、是デ以テ總テ教育ヲ改善スルモノトカ、或ハ其他ノ教育設備ヲ向上スルカ云フコトガアリマセウケレドモ、併ナガラ要スルニ教員給ノ半額ニ當ルダケノモノノ國庫ガ出スト、斯ウ云フ事ニ外ナラヌノデアリマス、其半額ニモ尙ホ達スルコトガ出來ナイト云フ譯デアリマスカラ、其結果ハドウナルカト言ヘバ、町村經濟ガ緩和サレト云フコトニ相成ッテ參ルト考ヘルノデアリマス

○大津委員 金ヲ出セバ町村經濟ハ緩和サレト云フノガ、文部大臣ノ如何ナル御説明ヲモ——結局ハ金ヲ出セバ町村ノ經濟ガ緩和サレト云フノガ本旨デアルトマア承ル然ラバ金ガ出ルト云フコトニナリマス、從來既ニ議會ニ案モ提出シテ居ルノデアリマスカラ、決シテ論ヲ以テ是ハ御尋ネスルノデアリナイ、現實ヲ以テ御尋ネスル、若シ議會ガ通過シテ、營業稅及地租方町村ヘ委讓サレト云フ時ニナレバ、

町村ノ經濟ハ緩和サレル、此委讓ノ案ノ提出者ノ精神モ其處ニアル、サウスレバ國庫ハ金サヘ出セバ何處カラ出テモ宜イデヤナイカ、國庫ノ支出ノ必要ハ無イト云フ仰セニナルト、左様心得テ宜シウゴザイマスカ

○鎌田國務大臣 此地租委讓等ノ事ハ、マダ未定ノ事デアリマス、此教育費國庫負擔金ト云フモノ、全體ノ趣意ハ唯單ニ町村ノ經濟ヲ助ケント云フコトデアリマシテ如何ニ之ヲ配當スルカト云フト、其力ニハ反比例シテ、即チ直接國稅ノ納額ニハ反比例スル、ソレカラ此附加稅ニハ正比例スル、斯ウ云フ原則ニ依ッテ成立ッテ居ルノデアリマス、サウシマス、或ハ今日ノ地租デアレ、營業稅デアレ、此直接國稅ヲ餘計納メテ居ル者ハ少ナイ、殊ニ此戶數割附加稅ト云フヤウナモノガ非常ニ嵩ムノデアリマス、此外負擔金ガ餘計ニ分割サレルト云フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、然ルニ地租委讓ト云フ事、此事ハ直グニ交換サル性質ノモノデアナイノデアリマス、全ク此地租委讓ト云フ事ト此ハ關係無イ獨立ノモノト御考ヘノ上デ御審議下サルト云フコトガ私ノ望ム所デゴザイマス、是ハ本會ニ於テモ申述ヘマシタ

○大津委員 只今ノ御説明ハ、前段ハ甚ダ諒解ニ苦シマシタ、御説明ノ結局地租委讓營業稅ノ御話ハ無カッタ、地租委讓ト此教育費ノ負擔ハ全ク關係有シナイモノデアルト云フコトハ、結局ノ御答ハ了承致シマシタ、然ラバ將來地租ハ委讓サレテモ、國庫ノ負擔額ト云フモノハ委讓ト否トハ關係シナイ、是ハドコマデモ國庫ガ負擔スルモノダト云フ趣意ハ、洵ニ結構ニ諒解スル、サウナクテハナラヌ、小學校ノ教員ノ俸給ニ對シテ此負擔ヲスルト云フ出發點ガ違、テ居ルカラ、サウナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、此點ハ洵ニ結構デゴザイマスガ、擬テ既ニ既往一千万圓支出ヲシテ居、タニ對シテ、今三千万圓支出スルト云フ時ニナリマスレバ、小學校教員ノ俸給何分ニ當リマスカ、ソレヲ一應御尋ネシタイ

○山崎政府委員 先程御手許ニ差上マシタ參考書ノ表ヲ御覽ヲ願ヘバ分リマス、今回ノ四千万圓デ、俸給總額ニ對シマシテ三割一分四厘トナリマス

○大津委員 マダ半額ニハ餘程遠イ、ソコデ文部大臣ニ伺ヒタイノハ、政府ハ義務教育ヲ相當年限ニ延長スル思召ハアルノデアアルカ、無イノデアアルカ、學齡兒童ハ八箇年ニナル、サウシテ學齡兒童ノ中デ、尋常科高等科ヲ區別シテ居ルト云フノガ今日ノ小學校令デアリマス、斯ノ如ク區別ヲ立テ、僅ニ六箇年ノ義務教育ヲ行ッテ居ルト云フモノハ、世界ノ國々ノ中、強國文明國ト言ハレルヤウナ國ニハ、其例ガ無イト思フノデアリマス、文部省ハ市町村經濟ノ緩和ト云フ方ニ力ヲ置クガ、政府ノ國庫負擔金ヲ増額スルト同時ニ、少

クトモ世界列國ノ中、我國ト對立スベキ地位ノ國民ノ教育ノ如ク、國民ヲ教育シヤウト云フ御方針ガナイカ

○鎌田國務大臣 文部當局ト致シマシテハ、其希望ヲ持ッテ居リマス、而シテソレハ、攻究調査ヲ進メテ居ル次第デアリマス、未ダ何時何年度ヨリ何年ヲ期シテ之ヲ擴張スル等ノコトモ今日攻究中デアリマス

○大津委員 斯ノ如ク三千万圓ト云フ金額ヲ國庫ノ負擔トスルノガ相當アルトハ私共信ジナイ、文部大臣ノ御説明モ半額ニ達セシムルト云フコトガ趣意ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、文部大臣ト雖モ三千万圓ヲ満足デアアルトハ思ハレナイ、財政ノ都合デ據ロナイト云フコトデアリマセウガ、既ニ四千万圓ト云ヘバ教員俸給ノ三割七分ト云フ、今ノ政府委員ノ御答デソレハ満足シマシタガ、斯ノ如キ場合ニ於テ、教育ノ向上ト云フ方ニ力ヲ注イデ、義務教育年限延長ト云フコトヲ斷行スルト云フノニハ、絶好ノ時期デアナイカト思ヒマス、殊ニ昨年衆議院ガ各派一致ヲ以テ軍縮問題ヲ建議シタ、陸軍大臣ノ説明ニ依レバ、義務教育ヲ八箇年ニ進メテ行ケバ、兵役ニ於テ六箇月ハ短縮シテモ差支ナイ、同等ニナルト云フコトヲ陸軍大臣ハ説明シテ居ラレルノデアリマス、一方ニ於テ軍縮問題ガ起、テ居ル、而シテ八箇年ヲ實行スレバ、兵役ニ於テ六箇月宛、十數萬ノ兵隊ガ現役ヲ短縮スルコトガ出來ルト云フコトヲ、陸軍當局モ言、テ居ラレルノデアリマス、何故斯ノ如キ絶好ノ機會ニ、八箇年義務教育ヲ御調査デアリト云フノデアアル、ソレ程御調査ニ困苦ヲ要スルモノデアハナカラウト思ヒマス、成程困苦ナリトスレバ、中々困苦デアリマセウガ、私ハ左程困苦デアナイト思フ、此時期ニ之ヲ行ハナイデ、今調査中デアルト仰シヤルノハ、如何ナル事情カラ御調査ガ延ビテ居ッテ、此時期ニ御斷行ガ出來ナイノデアアルカ、御説明ヲ願ヒマス

○鎌田國務大臣 第一主ナルモノハ教員ノ不足ト云フコトニガ主ナ一項デアリマシテ、ドウテモ二箇年延長致シスレバ、二萬ノ教師ガ足りナイ、少クトモ一萬人乃至一萬二千人ノ教員ガ足ラヌ譯デアリマス、ソレヲ爲サズシテ義務育ノ年限ヲ延長シタ所ガ仕方ガナイ、尙ホ市町村ノ負擔如何ト云フコトヲ考ヘルコトモ必要デアリマス、要スルニ先ヅ第一ニ考ヘネバナラヌコトハ教員ノ不足デアリマス、其處デ義務教育年限延長ヲスルト云フ令ヲ發スル其準備モシナケレバナラヌ、是ニ財政ノ關係ト云フコトモアル譯デアリマス、成ベク早ク之ヲ實施致シタイト云フコトハ、切ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、隨ッテ成ベク之ヲ早ク爲シ得ル工風ヲ致スト云フ大體ノ精神ニ至ッテハ、少シモ考ハ連ハナイ積リデアリマス、但シ十二年度ノ豫算ニ於テ、之ヲ計上スルコトガ出來ナカッタト云フコトハ遺憾デアリマス、成ベク早ク

實施スルコトヲ希望致シテ居ル譯デアリマス

○大津委員 只今ノ文部大臣ノ御説明ハ甚ダ解シ難イノデア

ルガ、教員ノ不足、是ハ全ク不足ニ相違ナカラウト思ヒマス、

私モ決シテ充足シテ居ルトハ思ハレナイ、思ハレマセヌケレド

モ、之ガ爲ニハ簡年ニ義務教育ヲ延長スルコトガ出来ナイ

ノデアルカラ、ドウカ教員ヲ充足スルヤウニシテ、早く遣リ

タイト云フ御希望デアリマス、此初等教員ヲ養成スベキ各

府縣ノ師範學校ト云フモノヲ、今少シ擴張ラシテ行キタイ

ト云フコトハ、吾々ノ希望デモアリ、又世界列國モ今日ハ教

員養成ニハ、在來無イ教員養成所モ起スト云フ國々モ澤山

アルノデアリマス、師範學校其他色々ノモノヲ拵ヘテ居ル

所モアリマス、然ルニ地方ノ各府縣ノ師範學校ヲ擴張スル

上ニ於テ、是等教員ヲ養成スベキ高等師範ヲ廢止シテ、或ハ

文理科大學ノ中ニ大學令ニ依ッテ其中ニ何方速成科ヲ置ク、

附屬セシムルト云フヤウナコトモアル、サウ云フ姑息ナ事

ヨリモ、高等師範學校ヲ益々擴張スベキ師範大學ヲ作ル方ガ

必要デアル、尙ホ高等師範學校モ作ルベシ、而シテ高等師範

學校ハ教師ヲ作ッテ地方ニヤリ、地方ノ師範學校ハ制度ヲ擴

張シテ此不足シテ居ル小教員ヲ速ニ充足セシメテ、八箇年

ノ義務教育ヲ行フニ努メテ居ルト云フ説明ニハ了承スルノ

デアリマス、然ルニ一方ニ於テハ之ヲ充足セシムベキ師範學

校、府縣ノ師範學校ノ土臺トナルベキ、師範學校ノ教師トナ

ルベキ者ヲ養成シテ居ル高等師範學校ハ、之ヲ廢止シテ仕

舞フ、サウシテ僅ニソレニ附屬シテ養成スルトカ何トカ

云フヤウナ態度ヲ執ッテ居ル、ドウモ矛盾ノ極デハナカラウ

カト思ハレマセヌケレドモ、其等ノ點ヲ一ツ簡明ノ御説明ヲ

乞ヒタイ

○鎌田國務大臣 大津君ノ御質問デアリマセケレドモ、サ

ウデナク、此高等師範學校ハ決シテ廢サナイ、而シテ高等師

範學校ノ上ニ、即チ專攻科ノ組織ヲ改メテ文理科大學ト

スル斯ウ云フ事ニナル、此大學ナルモノハ何ヲスルカト

云フト、中堅トナルベキ中等教員ト云フモノヲ作り、而シテ尙

ホ高等師範學校ニ於テ中等教員ノ養成ト云フモノヲ致シマ

ス、其上ニ中等教員ノ臨時養成ト云フコトモ、矢張豫算ニ計

上シタ通りニ、來年ハ五百十人デアリマス、サウ云フ風ニシ

テ中等教員ノ充足ト云フコトヲ圖リ、又今後モ益々圖ル考デ

アリマス、決シテ此際ニ中等教員ノ養成所タル高等師範ヲ

廢スルトカ減ズルト云フコトハ致シマセヌ、尙ホ其上ニ文

理科大學ヲ設ケテ、大ニ養成スル譯デアリマスカラ、中等教

員ノ益々増加サレル計畫ヲ致シテ居ル譯デアリマス、其點

ハドウカ……

○大津委員 御説明ハ洵ニ筋道ノ立ツク御説明デアリマス

ガ事實ハ私ハ其通りニ思フ譯ニハ行カナイ、併ナガラソレ

ヲ事實ガドウト云フコトヲ述ベレバ議論ニナリマセカラ、

此處デハ此問題デハ申上ゲマセヌガ儲テ在來此現行ノ法律

案ハ、成ルダケ小學校教員ノ善良ナルモノヲ多クシタイト

云ラ考カラ、國庫ノ負擔金モ正教員准教員迄ニハ及ボシテ

居リマセケレドモ、代用教員ニハ及ボサナイト云フ方針ヲ

執ッテ居ルデアリマス、今日類ニ教員ノ不足シツ、アル

ト云フケレドモ、前年來ト比較シテ、今日小學校正教員准教

員等ハ非常ニ減ッテシマツテ、ドウシテモ代用教員デナケレ

バ補足ハ出来ナイト云フ、固ヨリ補足ハシテ居リマセケレ

ドモ、著シク代用教員ヲ用ヒナケレバ小學校ハ差支ヘルト

云フ現況ハ、私共認メナイト思ヒマスガ、何レ文部ニハ調査

ガゴザイマセウガ大シク違ヒハナイト思フ、併ナガラ代用教

員ヲ加ヘテ、其代用教員迄ニモ國庫ノ支出金ノ恩惠ヲ及ボ

スト云フコトハ、必シモ反對デハナイ、併シ既ニ代用教員迄

ニモ恩惠ヲ與ヘテ行クト云フナラバ八箇年ノ義務教育ヲ茲

ニ實行スルニシテモ、代用教員ヲ以テ之ヲ充足セシメテ行

クト云フナラバ、何モ左程ニ恐ロシイ事ハナイ、代用教員デ

ハ資格不十分ト見ルカラデアアル、既ニ現在ノ小學校ニ於テ、

代用教員ヲ矢張國庫ノ恩惠ニ與カラシメル、サウシテ代用教

員ノ資格ヲ固ヨリ認メテハ居ルノデアリマセケレドモ、

之ニ相當ノモノト云フ御考ヲ以テ、代用教員迄モ加ヘテ國

庫ノ支出金ヲ支出スルト云フコトニ今度改正案ガ出来テ居

ル、其御考デ行クナラバ、教員ノ不足ト云フモノノ左程ニ

感ズル必要ハナイ、代用教員ヲ以テ行カウト云フナラバ、幾

ラモマダ教師ヲ充足セシメラルコトハ困難デナイト何人モ認

メラレルト思フ、サウシテナラバ八箇年ノ義務教育ヲ實行ス

ル上ニ於テ、左程ノ困難ハ見ナイノデアアル、矢張文部大臣ノ

御説明ハ、ソレデモ教員ガ足ラナイカラ、八箇年ノ義務教育

ハ困難デアル、今調査中デアアルト云フ、此點カラ見テモ、調

査研究ニ名ヲ托シテ、サウシテ第一ニ世界列國ニ對シテ恥

ヅベキ日本國民ノ教育ヲ、速ニ列國同様迄デナクテモ、列國

ニ近ヅク迄ノ國民教育ヲシテ行カナケレバナラヌト云フ、

急速ナル今日ノ世界ノ大勢カラ見テモ、我國ノ現状カラ見

テモ、大切ナルモノヲ調査研究ニ托シテ、教員ガ足ラナイカ

ラト云フノデ、實行出来ナイト云フコトハ、此現在ノ提出案

ノ代用教員ヲ以テ十分ナリト認メテ、之ニ國庫金ヲ與ヘテ

行クト云フ趣意カラ見ルト、大變遷テ居ルヤウニモ思フ、

ドウデス、今一度御審議ニナツテ、代用教員ヲ以テ一ツ八年

制ヲ御實行ニナツテハ……

○鎌田國務大臣 少シ違ッテ居リマス、代用教員ヲ認メルト

云フ譯デナイ、代用教員ハ成ベク廢メタイ、而シテ正教員ニ

代ヘタイト云フコトカラ、矢張起ッテ居ルノデアツテ、代用教

員ヲ使ッテ居ル所ノ資力薄弱ノ町村ニデモ、ソレヲ計算ニ入

レテ金ヲ與ヘクナラバ、餘裕ヲ生ジテ、正教員ヲ雇フコトニ

ナルダラウト、ソコデ教員其モノニ決シテ恩惠ヲ施ストカ

施サナイト云フノデアリマス、教員ヲ目安ニ取ッテ、代用

教員ガ學級ヲ擔任シテ居ルモノハ、之ヲ計算ニ入レル、即チ

學級ニ向ッテ國庫負擔金ヲ分配スル、斯ウ云フ趣意カラ起

テ來ル、其代用教員ヲ使ッテ居ル町村ハ、如何ナル町村デア

ルカト云ヘバ、重ニ是ガ資力薄弱ノ町村デアアル、資力薄弱

ノ町村ニ成ルタケ金ノ餘計行クヤウニト云フコトニナルト、

代用教員デアアルカラ金ヲヤラナイコトニシテハ、其町村ハ

金ヲ貰フコトガ少クナルカラ、ソコデ資力薄弱ナル町村ニ

成ベク恩惠ヲ與ヘテ、代用教員ハ出來ルナラバ正教員ニ取

替ヘルヤウニスルニハ、此方針デ行カナケレバ目的ヲ達ス

ルコトハ出來ナイ、決シテ代用教員ヲ宜シト云フ趣意カ

ラ來テ居ルノデアリマス、ドウカ其邊デ宜シク……

○大津委員 御説明ハ巧デゴザイマセケレドモ、併ナガラ

此國庫支出金ハ他ニ使フ金デハナイ、教員ノ俸給ニヤル譯

デアアル、教員ノ俸給ニ對シテ支出スルノデアアル、然ラバ教員

ニ渡スノデアアル、代用教員ヲ目安ニ置ケバ、代用教員ニス渡

ベキガ當然デアアル、渡ス爲ノ案デアリマス、生徒ノ數、學級ノ數

カラ割出スト云フコトハ、在來ノ方モ矢張ソレカラ割出シテ

居ツ、割出シテ居ルケレドモ、代用教員ガ持ッテ居ル學級、

教員ノ生徒ノ數ニハ數ヘラレナイノデアアル、若クハ生徒ノ人

數ノ中ニハ加ヘナイノデアアルト云フノデアリマス、唯、教師ノ數

ト云フ方カラ行クト、代用教員ハ現在ハ加ヘナイ、學級ハ加

ヘデアアル、學級ヲ加ヘレバ生徒ノ數モ加ヘデアアル、唯、代用

教員ガケハ教師ノ數ノ方カラ行ッテ恩惠ニ與カラヌ、恩惠ト

云フノモ可笑シイガ、相當受クベキ國庫ノ支出金ヲ受クル

數ニハ入ラナカッタ、所ガ今度ハソレヲ入レルトナルト、代

用教員ヲ宜シト云フ方ニ特典ヲ更ニ設ケルモノニナツテ

來ルト見ナケレバナラヌノデアアル

○鎌田國務大臣 サウデナイ、要スルニ兒童數ヲ目安ノ一

ツトナシ、他ノ目安ハ教員數、斯ウ云フコトニ原則ガナツテ

居ルノデス、而シテ偶々或ル町村ガ代用教員ヲ使ッテ居ル、

其爲ニ之ヲ數ニ入レナイコトニナルト、其町村ハ此負擔金

ヲ受クルコトガ出來ナクナル、其負擔金ヲ受クルコトノ最

モ切要ナル町村ガ、ソレヲ受クルコトガ出來ナイト云フコ

トハ、目的ト正反對トナルカラ、ソコデ代用教員ト云フモノ

ヲ矢張入レルコトガ起ッテ來タノデアリマス、其代用教員ヲ

相當ト認メル譯デアリマス、成ベク早く之ヲ正教員ニ取替

ヘルベシ、取替ヘルベシト云フノハ、金ヲ與ヘテ居ルカラ、取

替ルコトガ出來ルチヤナイカ、偶々其町村ト云フモノハ非

常ニ學事ヲ怠ッテ居リマスル町村デアリマスレバ、金ハ貰

ドクト云フコトニナルカ知レマセヌガ、サウデヤナイ所ガ

多イノデス、良教員ヲ置イテ良イ教育ヲシヤウト云フコトハ、父兄ガ望ンデ居リマスカラ、普通トシテハ金サイ出来レバ正教員ヲ備フト云フ町村ノ意嚮ト云フモノハ、察知スルコトガ出来ル、若シソレヲ爲サナイモノハ、相當ノ手續ヲ以テ之ヲ獎勵スル、監督ヲスルト云フヤウナ途モアリマス、ソコデ尙ホ義務教育年限延長ト云フコトニ付テ、名ヲ教員ノ不足ニ託シテ、調査々々延バシテ居ルデヤナイカト云フ御尋デアリマシテガ、當局ニ於テハサウ云フコトガナイノデアリマス、是ハ眞面目ニ理想ヲ實現シタイト云フ考ノ上ニ調査ヲ進メテ居リマスカラ、其調査ニ付テ申上ゲテ宜クレバ政府委員カラ申上ゲマス

○大津委員 只今ノ説明ニ依レバ、甚ダ分リ悪クナル、目的ノ目途トシタモノハ、兒童數、教員ノ數、斯ウニナル、兒童數ハ在來同ジデアルケレドモ、教員數ハ代用教員ヲモ加ヘテ算定シテ、サウシテ之ニ國庫ノ支出金ヲ與ヘレバ、豊カニナッテ來ルカラ、正教員ニ段々更ヘルト云フ念慮ガ町村ニ起ルダラウト云フ、斯ウ云フ御説明ニナリマシタガ、在來トテモ是ハ分リ切ッテ居ル、話デアル、今後ト雖モ正教員ヲ入レレバ金ヲ費ハレル、頭數ヲ入レルカラ費ヘルト云フコトガ分ッテ居ル、代用教員ニ金ヲ與レテ往ッタナラバ、ソレデ甘シテ代用教員デモ金ヲ費ヘルカラ、正教員ニ更ヘナクトモ已レノ村デハ宜イト云フノデ、ソコニ情實ノ問題ガ絡マッテ、代用教員ニ合ハシテ置クト云フヤウナコトニモナッテ來ルト思フ、ダカラ政府ノ御希望ノ正教員ヲ充實シタイト云フ考デ、代用教員ニマデ金ヲ應用シテ往クト云フコトデアリマスレバ、段々正教員ヲ少クシテ往クト云フコトコトガ出来ナイ、私ハ文部大臣ノ御意見ト正反對ノ考ヲ持ッテ居ル、ソレダカラ代用教員ノ資格ヲ認メタモノト思フカラ、ソレデ斯ウ云フコトヲスレバ、八箇年ノ義務教育モ、正教員不足ト云フコトデソレガ出来ナイト云フ議論デハ、論理ガ立タナイノデナイカト思ヒマス

○鎌田國務大臣 ソコニナッテ來ルト、大變違ッテ來ル、此代用教員ト云フモノヲ除イタナラバ、結果ハドウナルカト云フコトヲ御考ニナッタナラバ、代用教員ハ貧弱町村ニ使ハレテ居ル、貧弱町村ト云フト語弊ガアリマスガ、此貧弱町村ハ、此法律ガ最モ多ク金ヲ與ヘント欲スル目的物デアル、然ルニ貧弱町村ニハ最モ多クノ代用教員ヲ使ハレテ居ルガ爲ニ、代用教員ニ與ヘナイト云フコトニナレバ、貧弱町村ガ反對ニ金ヲ受ケルコトガ出来ナイコトニナル、サウナレバ正教員ハ申スマデモナク、代用教員モ備ヘナクナルカ知レマセヌ、是ハドウシテモ金ヲ與ヘタカラト云ッテ、一時ニ正教員ニ更ヘルコトガ出来マスマイガ、餘裕ヲ與ヘズシテ正教員

ヲ置ケト云フコトハ、木ニ縁ッテ魚ヲ求ムルヤウナモノデ、ドウシテモイケナイ、備ヘ得ルダケノ金ヲ與ヘ、サウシテ正教員ヲ成ベク使フベシト云フコトヲ獎勵スル、獎勵スルダケデハイケナイ、其町村ガ自治的ニヤラナケレバナラナイ、サウシテ教員ガ澤山アレバ宜イガ、正教員ハ實ハ足りナイ、足りナイカラ代用教員ヲ使ッテ居ル、金ガ少ナイコト、教員ガ少イ爲ニ代用教員ヲ使テ居ルカラ、ソコデ金ヲ町村ニ與ヘ、一方ニ於テハ教師ノ養成ト云フコトヲヤラナケレバナラス、二者相俟ッテ此貧弱町村ニ正教員ヲ用ヒルヤウナ境遇ニ達スルコトガ出来ルノデアル

○大津委員 私ノ申シタノハ、サウ云フ説明ダカラ疑ハシクナルノデアル、貧弱町村ノ代用教員ヲ認メテ、ソレニ金ヲ與レテ行ケバ、ソレガ正教員ニ更ッテ行クコトハ、金ヲ與レナイ今日デモ分ッテ居ル正教員サイ置ケバ何時デモ費ヘルコトハ分ッテ居ルガ、其正教員ヲ置ケナイカラ代用教員ヲ置クノデアル、其代用教員ニ金ヲ與レルト云フナラバ、洵ニ結構ナ事デ助カッタ言ッテ、此上正教員ヲ置ク必要ガナイト云フ考ニナルノハ、當然デアル、文部大臣ハ二度モ同ジコトヲ繰返サレテ居ルガ、結果ハソレト全ク違フ結果ニナラウト思フ、併シソレデモ差支ナイノデ、代用教員ヲ矢張宜シイト御認メニナッテ居ルカ、サウ御認メニナッタナラバ、進ンデ言ヘバ教員ノ不足ヲ感スル氣遣ハナイカラ、八年教育モ優シク出来ルデナイカト云フノデアリマセウガ、其點ハ此上何邊繰返シテモ同ジデアリマスカラ、私ノ質問ハ是デ宜シイ

○鎌田國務大臣 御意見ノ相違デアリマスカラ、強テハ申シマセケレドモ、代用教員ハ成ベク正教員ニ用ヒルベキカラ付ケルト云フコトガ必要デアル、又義務教育年限延長ハ、當局ニ於テモ成ベク實現シタイ、ソレニ付テモ矢張正教員デナケレバ、上ノ級ヲ代用教員デ無論持テナイノデアリマスカラ、正教員ノ養成ト云フコトハ益、必要ニナッテ居ル、教師ノ養成ト云フコトハ、ドウシテモ必要ヲ告ゲルト云フコトハ無論ノ話デアリマス、併ナガラソレヲサウ云フ事ニ託シテ、成ベク時ヲ延バスト云フ考デハナイ、成ベク本當ニ調ベテ、本當實行シタイ、尙ホ調査ヲ進メテ居ル事柄ニ付テハ、政府委員カラ申上ゲテ宜イデス

○大津委員 教師ノ養成ニドウシテモ力ヲ入レタイト云フコトハ、文部大臣ノ御説明ヲ俟タズシテ同感デアリマス、併シ文部大臣ハ初ノ御説明ニ教師ノ俸給半額ニ達セシメルト云フ目的ヲ以テ此三千万圓ノ増額ヲスルト云フコトデアリマスルガ、其趣意デアレバ、何故三割八分デナクシテ、五割マデノ支出ヲスルコトガ出来ナイノデアルカ、文部大臣ハ何故ニ——今一千万圓ヲ増セバ五割ニナルダラウト思フ、

財政上致方ナイト云フコトハ、大藏大臣モ述ベテ居ルシ、何處ノ政府委員モ述ベテ居ルガ、ヤラウトシタナラバ出来ナイコトガナイ管デアル、國家ノ仕事ト思フタナラバ、此位ノ事ガ出来ナイ道理ガナイ、教育ハ人間ヲ作ルモノデナイ、カト或人ガ云ハレタガ、尤ナ事ダト思フ、道ヲ造ルニデモ、鐵道デモ補助金ヲヤル、道ヲ鐵道ニ補助金ヲヤラナラバ、人間ヲ作ル教育費ニ支出スル金ハナリサウナモノデアル、道路ヨリモ人間ヲ輕ク見テ居ルガ、ハナリサウナモノデアル、道ヲスルト云フヤウナコトヲヤッテ居ルニ拘ラズ、國家ノ事業ナル人間ヲ拵ヘル、國民ヲ拵ヘルト云フノニ、御希望ハ半額デアルガ、併シ三割八分ニシカ出来ナイト云フノハ、餘リ御強クナイ御説明デアル、如何ニモ優シイ御説明デアルガ、少シ御奮發ニナッテ、他ノ方ニ向フ金ヲ御慶シニナッテ、豫テノ目的通り國民ノ希望シテ居ル通り、五割ニ達セシメルト云フコトヲ何故ナサラナイノデアルカ、其出来ナイ事情ヲ、御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○鎌田國務大臣 大分是ハ議論ガ廣クナリマスケレドモ、文部當局トシテハ、勿論五千万六千万モ欲シイノデアリマスガ、政務ト云フモノハ、教育バカリガ政務デハアリマセヌ、諸般ノ事ヲ餘リ甲乙ナク之ヲ計畫シテ行カナケレバナラス、ソコデ道路ノ御論ヒガアリマシタガ、教育ト云フモノカラ考ヘテモ、道路ガ無ケレバ矢張教育ハ出来ナイノデアリマス、學校ダケ良クシテモ、通學スル道路ガナケレバ通フコトハ出来ナイ、是ハ極端ノ話デアリマスガ、道路河川橋梁ト學校ト相俟ッテ教育ヲ進メル譯デアル、又交通其モノガ教育デアル、人ト往來シ人ト接觸シテ、知識ヲ得ルト云フコトモ教育デアル、學校ダケ良クシテ、他ノモノハ止メニセヨト云フヤウナ暴論ヲ吐クト云フコトハ出来ナイ、大津君ハ教育ヲ重ンゼラル、厚イ御精神カラ起ルノデアリマスガ、三千万圓ト云フノハ、ギリギリ結着ガ三千万圓ニナツノデ、不満足ニハ感ジテ居リマスルガ、其内ニ又財政ノ都合ガ付ケバ、之ヲ増スコトノ計畫ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○大津委員 尙ホ皆様ニ澤山オアリデアリマセウカラ、獨リデ長クヤッテ居ッテモ何デアリマスカラ、是デ打切りマシテ、細カイ所ハ政府委員カラ聽イタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、文部大臣ニ對スル質問ハ一ト先ツ之ヲ止メルコトニ致シマス

○田中委員長 高田君、御質問ガアリマスカ
○高田委員 アリマス、國庫負擔金ノ増加ニ付キマシテ、政府ガ國民教育ノ振興ニ對シテノ責任ハ、層一層深クナッタヤウニ思ハレマス、ソコデ只今大分學年延長ノ事デ御話ガア

リマシタガ、私モ無論義務教育ノ年限延長ノ事ニ同意ハ表
シマスルケレドモ、ソレ以上ニ現在ノ六箇年ノ義務教育ノ
内容ヲ改善スルコトガ最モ必要デアラウト思フ、ソコデ義
務教育ノ内容ノ改善ハ何ガ一番必要デアラカト云ヘバ、言
フマデモナク其局ニ當ル教員ノ素質ノ向上デアラウト思フ、
只今御提出ニナツタル参考書ヲ拜見致シマス、幾分カ正教
員或ハ准教員及代用教員ノ割合ハ、漸次減リマスル傾向ニ
アリマスルガ、現在ニ於テ大正十一年度ノ事例ニ於テ、尙ホ
且ツ教員總數ニ對シテ三割以上ノ准教員代用教員ガアルヤ
ウニ統計上見エルノハ、甚ダ遺憾デアラウト思フ、之ヲ漸次改
正シテ、成ベク正教員ヲ以テ其局ニ當ラシメタルコト云フコ
トハ、必要ナ事ト思ヒマスルガ、ソレガ爲ニハ各府縣ニ於テ
師範學校ノ生徒ノ増加ヲ必要ト致シマス、隨テ或ル程度マ
デ府縣費ノ増額ヲ必要トスルト思フ、デアリマスガ、勿論
吾々ハ急ニ一年カ二年ノ間ニ此准教員代用教員ヲ使フコト
ヲ廢メテ、全部正教員ニスルト云フコトモ出來ナイト思ヒ
マス、去リナガラ文部大臣ト致シテハ、相當ノ計畫ヲ定メ
テ、成ベク早く准教員及代用教員ヲ廢シテ、之ニ代ヘルニ本
科正教員ヲ以テスルト云フコトハ、教育ノ實質ヲ改善スル
上ニ於テ、最モ必要ナ事デアラ、殊ニ國庫負擔金モ漸次増加
致シマシタ以上ハ、文部省トシテハ、一層是等ノ内容改善
ニ付テ意ヲ御用ヒニナルノガ當然デアラウト思ヒマスガ、之
ニ對シテ文部省ハ相當ノ計畫ヲ勿論オアリノコト、存ジマ
スルガ、如何ナル計畫ニ依テ此教員ノ現在ノ狀況ヲ改善シ
テ、成ベク早く正教員ヲ以テ國民教育ノ衝ニ當ラシムルコ
トガ出來ルカ、其案ガオアリニナツタナラバ、之ヲ御示シテ
願ヒタイト思ヒマス

○赤司政府委員 師範學校ノ生徒ノ問題ニ付テ只今御尋ガ
アツタノデアリマス、元來師範學校ハ小學校ノ教員ヲ養
成致スノデアリマス、然ル所大正七年或ハ大正八年、所謂物
價ガ高クナリマシタ時分カラ致シマシテ、段々師範學校ノ
生徒ノ收容力ヲ増加致シテ居ルノデアリマス、今年度
ニ於キマシテ之ヲ大正七八年度ニ比ベマスルト、二千人程
全國師範學校ニ於テ收容力ヲ増加致シテ居ルノデアリマ
ス、勿論之ヲ以テ十分トハ考ヘテ居リマセマスガ、各府縣ニ於
テモ、中學校女學校或ハ師範學校ノ收容力増加、或ハ縣ニ依
テハ、師範學校ノ新設ト云フヤウナコトヲ皆相當計畫ヲ致
シテ、小學校教員ノ補充ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガ
ラ何分ニモ未ダ御承知ノ通り師範學校修業年限ハ四箇年デ
ゴザイマスカラシテ、其卒業生ガ直ニ出ルト云フ譯ニハ參
ラヌノデアリマス、併シモウ二三三年經テマスレバ、是等ノ生
徒ガ出マシテ、今日ニ較ベマスレバ凡ソ二千人位ノ小學校
正教員ガ多く出來マス豫定ニナツテ居リマス

○高田委員 モウ少し具體的ニ其事ヲ御示シテ願ヒタイノ
デアリマス、只今ノ御話ニ依ルト、二千人宛出ルト云ヒマス
ガ、一方御配付ナリマシタ學級數ノ増加ノ表ヲ見マス、
非常ナル勢力ヲ以テ學級數ガ増加シテ居リマス、茲ニ學級
數ノ調ベヲ拜見スルト、平均一年ニ三千學級、或ハ五千學
級、六千學級位殖エタ年モアツテ、私ハ一寸町村ノ事情ヲ申
上ゲルト、實際ニ於テ普通ノ町村デ現在ノ通りデ行キマス
ト、一學級位殖エタルコトガ普通デアラ、故ニ只今ノ御話ノ
二千人ダケ正教員ガ師範學校カラ出ルト云フ設備ガ御出來
ニナツタケデハ、到底現狀ヲ改善シテ、代用教員、准教員ヲ
少ナクスルコトハ出來マセス、茲ニ御示シニナツタ表ヲ見マ
シテモ、平均三千學級以上宛殖エテ居ル、二千人出タ所ガ、
三千學級ヲ補充スルコトハ出來ナイ、更ニ一方又是ハ文部
當局ハ詳シク御調ベガアラウト思ヒマスケレドモ、學級増
加ニ依ル教員ノ需要増加ト同時ニ、年々退職者ガ少ナクナ
イデアラウト思フ、サウスレバ一年ニ少ナクとも四五千人
宛ノ新ラウシキ卒業生ヲ今日以上ニ増スニ非ラザレバ、學級
數ノ増加ニ依ル教員ノ需要數ト、退職ニ依ル教員ノ補充ハ
出來ナイト思フ、只今文部次官ノ御話ニ依レバ、二千人ダケ
増加スルト云フコトハ、是デハ到底現在ノ補充ヲ補充
シ、或ハ學級數ノ増加ニ應ジテ優良ナ教員ヲ補充スル見込
ガアリマセス、今御話ノ通りデアラトスレバ、是ハ仕方ガア
リマセス、之ヲ急ニ一年二年或ハ三年ノ間ニ此改善ヲ圖ル
ト云フコトハ、誰ガ局ニ當テモ出來マセス、少ナクとも十
年計畫位ヲ立テ、而シテ從來ノ學級數ノ増加及教員ノ退
職ニ依ル補充等ヨリ詳細ナル調査ヲ遂ゲテ、文部省トシテ
之ヲ統一シテ、而シテ各府縣毎ニ之ヲ分テ、各府縣トモ斯
クセザレバ到底教育ノ實質ヲ改善シテ出ルコト云フコトニ
依ツテ、一定ノ案ヲ御立テニナルコトガ、國民教育ノ振興上
最モ當然デアラウト思フ、勿論ソレガ爲ニハ府縣ニ於テ相當
ノ經費ヲ要スルコトハ疑ノナイコトデアリマスケレドモ、
併ナガラ私共ハ何ヨリモ普通教育ノ進歩ガ、最モ國家最高
ノ政策ト信ジマスガ故ニ、國民亦優良ナル教員ヲ置イテ、滿
足ナル教育ヲ受ケンムルト云フコトハ、日本國民バカリデ
ハナク、何所デモサウデアラウト思フガ、吾々ハ師範學校ノ擴
張ニ要スル經費ハ、如何ニ經費多端ノ折柄ト雖モ、國民ノ全
部ガ之ヲ拒ムコトハナカラウト確信致シマス、故ニ、政府ニ
於テ只今御話ノ如ク二千人宛新ニ出ルカラ、ソレデ補充ガ
立ッテ行クト云フ御確信ガアルナラバ、私ハ要求シマセス
ガ、二千人デハドウモ足ラヌト思フ、若シ私ノ考ガ間違ッテ
居リマシタラ、能ク御話ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ドウシテ
モ五六千人宛今日以上ニ殖ヤシテ行カナケレバ、學級ノ増
加數ト、退職ノ補充ハ付カナイ、一方又更ニ正教員代用教員

准教員ノ三者ヲ併合シテ完全ニスルノニハ、五六千人位宛
今日以上ニ出シテモ足ラヌト私ハ思フ、只今御話ノ通りニ、
此點ニ付テ是レ以上御案ガナイト致シマスレバ、是ハ國民
教育ニ對シテ一種ノ怠慢ノヤウニ思フケレドモ、是亦此所
デ怠慢デアラカラ、何モカモ一緒ニヤレト云フコトヲ申上
ゲテモ仕方ガナイト思ヒマス、若シ案ガアルナラバ、何トカ
シテ確ナル案從來ノ經過、將來ノ見込ヲ立テマシテ、國民
教育ノ基礎トナルベキ教員ノ補充ノ道ヲ完全ニ作ルコトニ
御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○赤司政府委員 只今私ノ言葉ガ足りマセス結果デアラウ
ト考ヘマスガ、私ノ申上ゲマシタノハ、總テ師範學校デ今日
教員ヲ出シマス計畫ハ、過去ノ小學校教員ノ不足ヲ補充致
サナケレバナラヌノト同時ニ、學級ノ増加ニ對シマスル準
備ヲシナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ大正八年頃ニ
ハ約五千人強、即チ五千六十人ノ間ノ師範學校ノ卒業
生ガ出テ居タルデアリマス、ソレニ較ベマス、最近ニハ
八千人見當ノ卒業生ヲ出ス、斯ウ云フコトニナツタデアリ
マス、是デケデ全部ノ學級増加並ニ正教員ノ死亡退職、斯ウ
云フモノ、不足ヲ補充シテ行クト云フコトニナツテ居ルノデ
アリマス、勿論師範學校ガ唯一ノ小學校ノ正教員ヲ供給ス
ルト云フ所デハナイノデアリマス、即チ大體ハ此所カラ供
給致シマスガ、此外ニ御承知ノ通りニ試驗檢定ニ依リマシ
テ教員ヲ供給スル方法モアルノデアリマス、ソレカラ又無
試驗檢定ノ方法ニ依リマシテ、小學校ノ正教員ヲ行ク
ト云フヤウナ方法モアリマス、例ヘバ中學校ノ卒業生ヲ入
レマシテ、半年或ハ一年位ノ短期ノ講習ヲ致シマシテ、ソレ
ヲ以テ正教員ニシテ行クト云フヤウナ方法モ立ッテ居ルノ
デアリマス、先ツ今日ノ所ハサウ云フコトデ補充ヲシテ居
ルノデアリマス、無論私共モ之ヲ以テ正教員ノ供給ガ十分
デアルトハ申サヌノデアリマス、併シ大正八年頃ニ較ベ
マスレバ、各府縣ナドニ於テモ相當教員ノ供給ノ計畫ヲ致
シテ居ルト云フ事實ヲ唯申上ゲタニ過ギナイノデアリマス
カラ、ソレヲ以テ決シテ満足シテ居ルト云フ意味デハナイリ
デアリマス、ドウカ其邊ハ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○高田委員 只今ノ御答ニ依リマシテ現狀ハ分リマシタ
ガ、成程師範學校バカリデナク、他ノ方面ヨリ優良ナル教員
ヲ得ル方法モアリマセウケレドモ、併シ現在ノ遺方デハ到
底思フヤウニ行カヌト思ヒマスカラ、何トカ一定ノ計畫ヲ
從來ノ經過將來ノ見込ヨリ致シマシテ、御研究アランコト
ヲ希望スルノデアリマス、更ニ伺ヒタイ事ハ視學制度、就中
郡視學制度ノ事デアリマス、此郡視學ノ制度ノ事ニ付キマ
シテ、吾々ガ地方ニ居ッテ其狀況ヲ見マス、小學校ノ教員

ノ待遇ノ良クナリシ割合ニ、視學ニ對スル待遇方、多少之ニ及バザル感ガアリマシテ、優良ナル視學ハ去ツテ小學校ノ校長トナルト云フ傾ガアリ、隨テ視學ハ其權威ヲ益シ失ヒツツアルト思フノデアリマス、私共此視學制度ニ付キマシテハ色々ノ議論モアラウト思ヒマスガ、經費方許セバ各郡ニ現在ノ如ク一人宛ノ視學ヲ置イテ、學校ノ監督ヲスルト云フコトモ宜シイカモ知ラヌケレドモ、併ナガラ各郡ニ一人ノ視學ヲ固着ノ結果、非常ナ弊害ガ視學トカ學校教員ノ間ニ起ルコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマス、是ハ已ムヲ得ナイラシイ、私共モ赤司次官ナドハ能ク御承知デアラウト思ヒマス、私共ノ考デハ、經費方許セバ各郡ニ現在ノ如ク優良ナ者ガ居レバ結構デスガ、實際ニ於テ是ハ許サナイカラ出來マセヌ、故ニ各郡ニ一人宛ノ視學ヲ置ク制度ヲ廢シテ、例ヘバ郡視學方十人居ルモノヲ、之ヲ三人或ハ五人トシテ、府縣ニ居ラシメテ、交替ニ各郡ノ視學ヲ爲サシメテ、而シテ十人ノ者ヲ五人ニスレバ待遇方良クナル、隨テ優良ノ視學ヲ得ル、斯ノ如クスレバ優良ナ人ヲ得ル、ソレノミナラズ郡ニ固着シナイ結果ハ、情實關係ヲ離レテ、教員ノ更迭或ハ退職等ニ對シテ、現在有リ得ルト見テ居ル依估偏頗ノ事ガ、之方爲メニ無クスルコトガ出來得ルデアラウト私ハ思ヒマス、承ル所ニ依リマスレバ、此視學制度ハ、現在教育界ニ相當ニ國民教育ノ事ニ付キマシテ骨ヲ折ツテ居ル帝國教育會長、又文部次官等方立案シタル制度ヲ聞キマシタガ、私共ノ意見ト致シマシテハ、ドウシテモ前申上ガ通り、各郡ニ固着スル現制度ヲ廢シマシテ、其代リニ人ハ減ラシテ、之ヲ平均ニ巡ラシメテ待遇向上シテ優良視學ヲ置イテ、而シテ國民教育ノ監督ヲ爲ス方ガ、寧ロ效果ガアラヤウニ思ヒマスケレドモ、此點ニ付テ文部當局ノ所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○赤司政府委員 郡視學制度ノ御尋デゴザイマシタガ、郡視學ノ俸給ハ、市町村ノ小學校教員ノ増俸ニ伴ヒマシテ、矢張段々御意見ノヤウナ趣意カラデモアラウト思ヒマスガ、段々ニ増加ラシテ參ッテ來テ居ルノデゴザイマス、最近ノ調べニ依リマス、小學校ノ正教員ノ俸給ノ平均額ハ約六十圓程ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ郡視學ノ俸給ノ平均額ハ約九十八圓ニ今日ハナツテ居リマス、無論地方ノ狀況ニ依リマシテ多少ハ違ヒマセウガ、小學校教育ノ大家ノ居リマス所ハ、百五十圓ト云フ特別ノ俸給ヲ受ケテ居ル所モゴザイマスガ、大體ト致シマシテハ、小學校正教員ノ平均ハ六十圓、郡視學ハ九十八圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ尙ホ御説ガゴザイマシタガ、一應御尤ノ御意見デアルノデアリマス、御承知ノ通り此視學ハ單獨ノ機關デアリマスカラ、動トモ致シマスト云フト、人選其宜シキヲ得

マセヌト、弊ガ起リ易イノデアリマス、併シ文部當局ハ誰カノ意見ヲ顧慮シテ、躊躇シテ居ルノデハナイカト云フコトデアリマシタガ、視學制度ニ付キマシテハ、先般臨時教育會ニ於テモ、此問題ハ研究サレタ問題デゴザイマスガ、其當時ニ結果ハ現制ヲ可トスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、私共從來頻リニ此問題ニ就テ研究シテ居ルノデゴザイマスガ、マダ之ニ對シテ確タル意見ヲ申上ゲルコトガ出來ナイノデゴザイマス、併シ此郡視學ハ單獨ノ機關デアル所ノ利益弊害ト云フコトニ付キマシテハ、慎重ナル研究ヲ致シテ居ルト云フコトヲ御承知願ヒタイノデアリマス

○高田委員 先程大津君ヨリ一寸質問モアリマシタガ、陸軍軍備ノ縮小ノ事ニ就テ、其中ニ兵役年限ノ短縮ノ事ニ就テ、國民ノ教育ヲ更ニ改良シ、或ハ年限ヲ延長スル必要ガアルト云フコトデアリマス、是ハ當然ノ事デアリト思ヒマス、所ガ本日ノ朝日新聞ヲ見ルト、陸軍當局者ガ兵役ノ年限ヲ短縮スル爲メハ大中小學校ニ向ッテ有ル方法ヲ以テ軍事教育ヲ施シテ、而シテ將來兵役年限短縮ノ基ヲ作ラウ、斯ウ云フ事ガ新聞ニ出テ居ルノデゴザイマス、是ハ私共考ヘマスリマセヌケレドモ、兎ニ角モ年限ヲ短縮スルト云フコトニ付キマシテハ、陸軍當局者トシテ希望トシテ勿論ノ事デアラウト思フノデアリマス、私共兵役年限短縮ノ要ヲ認メル者デアリマスケレドモ、ソレト同時ニ國民ノ教育ノ實質ヲ改良シテ、或ル程度マデ大中小學校ニ現在以上ニ軍事的教育、軍事教育トハ中シマセヌ、軍事的教育ヲ施スノ必要ガアルト確信致シテ居ル者デアリマス、本日ノ朝日新聞ニ掲載サレシ事ガ、眞ニ事實デアルヤ否ヤハ分リマセヌケレドモ、兎ニ角陸軍當局ノ此言明ハ、斯ル考ノアルモノハ豫想シ得ルト思ヒマス、斯ノ如キ事ニ就テハ、勿論國民教育其他ノ教育ニ就テ、之ヲ主宰スル文部大臣ニ向ッテ、何等カノ御交渉ガアツタコト、思ヒマスガ、若シ御交渉ガ無カッタトスレバ已ムヲ得マセヌガ御交渉ガアツタトスレバ、今日ノ新聞ニ現ハレマシタ點ニ就テ、大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○鎌田國務大臣 陸軍當局カラ文部ノ方ニ交渉ガアリマシタ、而シテ之ハ各省ニ涉テ關係者ガアリマスカラ、先ヅ其等ノ人ヲ集メテ能ク相談スルコトニナツテ居リマス、マダ何等確定シタ案ハ得マセヌ、要スルニ政究中デアリマス

○高田委員 只今ノ御答辯ハ、御政究中ト云フコトデアリマスガ、サウ致シマス、アレダケノ事ガ出來レバ、軍備縮小ガ出來ルト云フ意味ニナリマスガ、同時ニ無論政究中デハアリマセウケレドモ、陸軍ノ計畫シタ軍事的教育ニ就テ、文部大臣トシテ御考ニナツテ居ルコトヲ忌憚ナク御述べテ願ヒ

タイト思フ、是ハ重大ナ問題デ、陸軍ノ兵役短縮ト云フ事ハ、今日ハドウ云フ風ノ吹キ廻シカ、今年ハ纏マラヌヤウデス、昨年ハ少ナクトモ一年四箇月ニ短縮スル方ガ宜カラウト云フ各派一致ノ意見デアリマシタ、急ニ其通り出來ルカドウカト云フコトハ、私個人トシテ疑ヲ持ッテ居ルケレドモ各派領袖ガ研究シタ結果、一年四箇月ヲ足レリト云フコトデアリマスカラ、官從シタノデス、然ルニ今年ハソレガ打止メニナツタ、兎ニ角國民教育ノ充實、殊ニ之ヲ軍事の方面ニ振向ケテ國民教育ヲスルト云フコトハ、國民皆兵ノ趣意ヲ全ウスル上ニ於テ、何ヨリモ必要ナ事デアラウト思ヒマスカラ、文部當局トシテ、此點ニ就テ幾分ノ御研究ハ無論ナクテハナラヌト思ヒマス、其御研究ノ程度ヲ承ッテ、吾々ハ軍縮問題其他ヲ審議スル材料ニ供シタイト思フノデアリマス

○赤司政府委員 先刻大臣カラ申シタ通り、軍縮ノ影響トシテ、國民教育ニ對スル陸軍當局ノ希望トデモ申シマセウカト云フナコトハ、私共了承シテ居ルノデアリマス、此點ニ就テハ目下折衝ヲ致シテ居リマスガ、御承知ノ通り一部分ハ軍事教育ト云フ關係ガ入ッテ參リマスデ、私共直直ニ之ガ斷案ヲ下スコトモ出來ナイノデアリマス、サウ云フ關係カラ度々寄リマシテ、研究ノ歩ヲ進メテ居リマス、併シ一方ニ於テ軍縮ノ結果、當然起ッテ來ル教育上ノ問題ニ就テハ、本年度ノ豫算ニ於テモ相當考慮シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り國立體育研究所ノ豫算ヲ本年度要求致シマシタコトモ、一ツハ其精神カラ出テ居リマス、小學校教育ナドニ於テ、兎ニ角國民ノ身體ヲ健全ニシテ置クコトハ、總テノコトニ必要デアル、斯ウ云フ所カラ之ガ根本的ノ研究ヲシタイト云フノデ、行政整理ノ際ニモ拘ラス特ニ之ヲ要求シタ次第デアリマス、ソレ直接軍縮ニ關係シタ事ニ就テハ、實ハ未ダ今日具體的ニ申上ゲル程度ニナツテ居ラスノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、兎ニ角文部當局トシテハ、此際體育向上ヲ圖ルコトノ必要ヲ認メテ居ル、此點ヲ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高田委員 實ハモウ少シ進シテ御話ヲ承リタイト思フノデゴザイマスガ御意見ガ定マラスト云フ以上、已ムヲ得マセヌカラ、此點ハ是レ止メマス、更ニモウ一ツ承リタイノハ、男教員ト女教員ノ事デゴザイマス、段々教員給ノ増加ニ從ッテ、市町村ノ教員費ガ増加スルニ伴レマシテ、資格ガアレバ成ベク俸給ノ低イ者ヲ云フ希望ガ漲リマシテ、其結果男女教員ノ割合上、女教員ガ多クナルヤウニ思ヒマス、私ハ斯ノ如ク女教員ガ無制限ニ殖エルコトハ、國民教育ノ効果上、甚ダ憂フベキ現象デアルト思ヒマス、或ハ外國ノ話ヲ承ルト、女教員ガ非常ニ多イ所モアルヤウニ思ヒマスガ、私ハ日本ノ現在ノ男女ノ知識ノ差ノ程度ヨリ、其他有ユル

六

男女ノ比較研究上、成べく男教員ヲ以テ國民教育ニ當ラシメタイト思フノデアリマス、此點ニ就テ文部當局ハドノ程度ヲ以テ女教員ノ教育ニ適當スルモノト見做サル、カ、或ハ教育家ハ尋常三年位マデハ女教員ガ宜シイガ、ソレ以上ハ男教員ガ宜シイトカ、色々ナ説ガアリマスケレドモ、文部當局ハ此點ニ就テ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマスカ、無制限ニ供給ガ宜イカラ、殆ド全部女教員ニナッテモ宜シイト云フ考デ、師範教育ヲ進メテ行キマスカ、或ハ尋常四年位迄ハ女教員デモ宜シイガ、ソレ以上ハ男子ヲ成ベク使ッテ、而シテ或ル特殊ノ科目ダケ女教員ニヤラセルト云フコトニスルガ宜シイカト云フコトニ付テ、一定ノ御成案ガ無論アルベキコト、思ヒマスケレドモ、之ニ付テ御成案ガナケレバ、非常ニ國民教育ノ上ニ困難ガアルヤウニ私ハ思フ、吾々ハ何故左様ナ事ヲ言フカト云フト、私ノ縣デ、資力ノ弱イ郡ハ女教員ガ澤山居ル、資力薄弱ト迄ハ申サレヌガ、先ヅ資力ノ少ナイ郡程女教員ガ多クナッテ居ル、其結果、私共ハ資力ガ十分ニアッテ、男子ノ教員ノ居ル所ヨリモ、國民教育ノ効果ガ少ナイヤウニ思ッテ居ルノデアリマス、何方此ニ付キマシテハ文部當局ト致シマシテ、ソレノ御經驗ニナッテ、ドノ程度迄女教員ガ宜シイカト云フコトヲ、國民教育ノ効果ノ上カラ御考ガ御有リト思ヒマスケレドモ、之ニ付テ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○鎌田國務大臣 男女教員ノ割合ニ付テノ御問デゴザイマスガ、是ガ下ノ邊ガ宜シイカト斷定的ニ極メテハ行カヌ、社會ノ狀態ヲ見ルト、女教員ガ殖エル傾向ハアルガ、之ニハ色々ノ關係ガアル、併ナガラ當局トシマシテハ、今日ノ所デハ百分ノ三十位ガ實際ノ割合デアリマス、最大限百分ノ五十、即チ二分ノ一位ガ適當デナイカ、國民教育ト云ヒマスガ、要スルニ國民ト云フモノハ、男女カラ出來タノデアリカ、教員ニモ男女ノ兩方アル、男子トシテハ長所モアレバ女子トシテハ長所モアル、之ハ男女各々持ッテ居ルコトデア、其個人ニ依ッテモ違フコトデアリマスカラ、ソコデ男女ニ依ッテ優劣ヲ判ズルト云フ譯ニハ行カヌノデ、先ヅ男女半々位迄ハ行キ得ルモノト考ヘラレル、又女子ノ方ガ實際幾ラカ俸給ヲ安ク得ラル、ト云フ關係カラ、今ノ資力ノ乏シイ所ニハ女教員ノ殖エルト云フヤウナコトモアリマセウガ必ズシモソレデ國民教員ノ力ヲ減ズルモノト斷定スル譯ニモ行カヌ、併シ現在ノ所デハ百分ノ三十ガ限度デアリマスルガ、モウ少シ之ハ増シ得ルカモ知レナイ、ソレヲ強イテ増加スルト云フ譯モナイ、凡ソ先ヅ二分ノ一位ノ限度トシテ殖エルナラバ、殖エルノハドウモ仕方ガナイコト、思ヒマス、其位ガ適當デナイカト考ヘマス

○高田委員 此點ハ文部大臣ト私ト非常ニ意見ノ差ヲ有、テ居リマスルガ之ハ已ムヲ得マセヌ、此所デ議論スル場合デアリマセヌガ、併シ私ハ文部大臣ガモウ少シ國民教員ノ内容ヲ能ク御調ベニナクナラバ、私ト同ジ考ヲ御持テニナル時代ガアルト考ヘマスカラ、益々其時代ノ一日モ早カラソコトヲ希望シテ置キマス

○鎌田國務大臣 成程今日迄ノ所ハ、女教員ノ力ガ足りナイトシマシテモ、先ヅ國民教員ノ上ニ於テ、私ハ女子ト云フモノモ半分位ハ之ハドウシテモ參加サセテ宜カラウト思フ、又是迄ドモ日本ノ一日本ノミハ限リマセヌガ、是迄考トシテハ、總テガ男子ガ長ジテ居ルト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ教育ト云フコトニ付テノ考モ——教育其モノニ付テノ考ガ、總テ男子ニ都合ノ宜イ方ノ、男子デナケレバ出來ナイヤウナコトヲ教育ニ付テ考ヘルモノデス、女教員ノ力ト云フモノガ劣ッテ居ルト云フヤウニ考ヘル傾ガアリマスガ、決シテサウ云フモノデナカラウト思フ、決シテ之ハ議論ヲスルマデハアリマセヌカラ、主張ハシマセヌカ、二分ノ一位迄 女教員ガ殖エテモ要フルニハ足リナイト私ハ思フ、私ハ國民教育ニ付テハ甚ダ經驗ノ無イ者デアリマスケレドモ、其國民教育ト云フコトニ付テモ、後來段々考ガ進ンデ參ルガラウト考ヘル

○高田委員 文部大臣ノ只今ノ御説ハ、或意味ニ於テ御尤デスケレドモ、是ハ一寸理想ニ走セテ居ルヤウニ思フ、現在ノ狀況カラ申セバ、私ハ文部大臣ノ御意見ニハ御同意出來兼ネル譯デ、只今ノ御話ノ通りトスレバ、女子ニ參政權等モ與ヘナケレバナラヌコトニナリマスルガ、私共ハサウ信ジテ居リマセヌ、是ハ意見ノ相違デスカラ已ムヲ得マセヌ、序ニモウ一ツ伺ッテ置キマスガ、前申上ガマシテ次官カラ御答辯ノアリマシタ小學校教員ノ學級増加ニ依ル需用ノコト、及補充ノコト、竝ニ現在ノ代用教員ニ付キマシテハ、成ベク計畫ヲ立テ、正教員ニスルコト、此三ノ事ヲ實行スル爲ニ、文部省トシテ一定ノ計畫ヲ立テ、之ヲ府縣ノ意見ニ一任セズシテ、文部省ガ將來ノ計畫ヲ立テ、以テ府縣ニ働キ掛ケテ貰ウト云フヤウナコトハ、文部省トシテ出來マセヌカ、是ガ非常ニ必要ナ事ニ私ハ思フガ……

○赤司政府委員 小學校ノ教員ノ供給ノ計畫ニ付キマシテハ、略々調ベハ出來テ居ルノデアリマス、之ヲ實行致スニ付キマシテハ、只今御説モゴザイマシタ通り、師範學校ノ擴張ト云フ問題ニナッテ參リマスノデ、文部省ト府縣トノ交渉問題ニナッテ來ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、此計畫ガ出來マシタ以上ハ、理事官會議等ニ於キマシテ、十分能ク地方ト連絡ヲ保チマシテ、之ガ實施ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○高田委員 私ハ大體ノ質問ヲ終リマシテ、尙ハ參考書ヲ

明日迄ニモ能ク拜見致シマシテ、此參考書ニ付テ市町村或ハ資力ノ事情ニ依ル云々ト云フ内容等ニ付テ、分ラナイ點ハ今後伺フコトガアルカモ知レマセヌカラ、委員長ニ此事ノ御諒解ヲ得マシテ、私ノ質問ハ打切ルコトニ致シマス

○田中委員長 承知致シマシタ、次ニ阪上君

○阪上委員 私ハ後デシマス

○鈴木(隆)委員 私モ三四是ニ付テ御伺ヒ致シマス、國庫負擔問題ハ隨分長イ間ノ問題デアッタノデアリマスルガ、漸ク今回其素志ヲ貫徹シタト云フヤウナ譯デアアル、是ハ甚ダ失禮ナ申分カモ知レマセヌガ、鎌田文相ノ在任中ニ於ケル一大事業デアアルカモ知レヌト思フ、或ハ前途ニモアルカモ知レヌガ、私ハ餘リナイト思フ、一大事業ガラウト思フ、テ居リマス、所デ其金ヲ増加シタト云フコトノミデハ満足ハ出來ナイ、其裏面ニ於テハ必ズ教育ノ功績ヲ擧ゲテ賞ヒタイト云フコトハ、是ハ當然ノ事デアアル、是ハ言フ迄モナイ、ナイノデアアルガ、私ハ特ニ此點ニ於テ御伺フシナケレバナラヌノハ、多年ノ問題デアアル此増額ヲシタト云フ此機運ヲ逸セズニ、全國ノ教育者ニ向ッテ——教育關係者ニ向ッテ、小學校生徒ノ實質剛健ナ思想ヲ養成スルト云フコトハ、全力ヲ擧ゲテ賞ヒタイト云フコトヲ私ハ考ヘマスガ、其質素剛健ナ精神ヲ養成シテ賞ヒタイト云フノハ、平素デモ斯クアラネバナラヌコトデアアルケレドモ、是ハ餘程難シテ居ルト思フ、累代ノ文部大臣ガ唯々位地ニ備ッテ居ッタコトハ、何十人カ數ヘテ居リマセヌガ、其澤山ニアッタ大臣ノ中、此事業ハ彼ノ文部大臣ガシタト云フ持筆大書ニ値スル文相ガ今迄無カッタ、唯々六週間現役ヲ定メタ森文部大臣ヲ推セバ推ス位ノモノデ、他ノ者ハ唯々員ニ備ッテ居ッタモノデアッタカラ、吾々ハ鎌田文相ヲ戴キタイト同時ニ、此實質剛健ノ旗印ニ向ッテ猛進シテ戴キタイト思フ、而シテ持筆大書スベキ事ヲ鎌田文相ニ努力シテ賞ヒタイケレバナラヌノデアリマス、此點ニ對スル所見ヲ伺ヒタイ、之ガ第一デアリマス

○鎌田國務大臣 實質剛健ノ氣ヲ養フト云フコトハ、至極大切ナ事デ、ドウシテモ之ヲヤラナケレバナラヌコト、思ヒマスガ、如何ニシテ之ヲ爲スカト云フコトニ付キマシテハ、其方法ハ種々アリ得ルガラウト思ヒマス、精神的ニ又身體的ニ之ヲ行フ、一例ヲ申セバ只今問題ニナッテ居リマス軍事教育——軍事教育ト云フコトデ、直グニ學校デ兵士ノヤル事ヲヤルト云フヤウナコトハ、是ハ中々考究ヲ要スル問題デアリマスケレドモ、要スルニ尙武ノ精神ヲ盛ニシ、士氣ヲ旺盛ニシテ精神的ニ剛健ナ人ヲ造ル、又體モ強壯デアルト云フコトガ、何方ニシテモ共通ノ大切ナ要素デアリマス、是等モ矢張實質剛健ノ氣ヲ養フベキ方法ノ一ツダラウト考ヘル、其他方法ニ至ッテハ種々アリマスルシ、教育ノ

第五類第四號 市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案委員會議錄 第一回 大正十二年二月五日

七

七

七

事デアリマスカラ、サウ一ツノ言葉ヲ以テ之ヲ蔽フヤウナ
コトモ出来マスマイ、成べく其方ニ向ッテ進マナケレバナラ
ヌト考ヘテ居リマス、而シテ唯々體方強クナッテ宜イカ氣性
ガ強クナツテ宜イカト云フダケデハイカヌ、中々今後ノ世
界ニ國ヲ立テ、行クニハ、國民ニ要スル要素ハ複雑ナモノ
デアリマス、併ナガラ根據トナルモノハ、實剛健ノ氣性ニ
云フコトデアリマス、ソレニ向ッテハ當局ハ全力ヲ注イデ之
ヲ助成シナケレバナラヌ覺悟ガアリマス、其方法如何ニ至
テハ、大ニ攻究ヲ要スルコトデアリマス、方法ハ澤山アリ
マス、又學校々々デ以テ方法ハソレソレアルコトデアリマ
ス、ソレハ其學校ノ校長教員當局者ニ負フ所ガ多イト思ヒ
マス、中心タル機關トシテ考ヘ左様ナ考ヲ持ッテ居リマス
○鈴木隆委員 私人ノ考ト御同感ノヤウナコトデアリマス以
上ハ、此點ハ文相ノ手腕ヲ吾々ハ十分ニ信任致シマスカラ、
其御手腕ニ一任シテ可ナリデアリマスカラ、敢テ細目ニ至
テノ方法等ハ申サズトモ、其御答辯十分デアリマス、次
ニ伺ヒタイノハ、今日ノ小學校教育ト申シマスルト、兎角外
觀ノミヲ能事終レリト云フ考ヲ持ッテ居リマス、例ヘバ校舎
或ハ良イ材木ガ使ッテアルトカ云フヤウナ形式ニ流レテ、或
ル學校デハ二階デ澤山人ガ集ル所ガ、墜落シタトカ云フヤ
ウナ事ガアリマス、是ハ矢張校舎ノ内容ヲ甚ダ不親切ニ取扱
テ居ルカラデアリマス、又學校教育ノ内容ト形式トヲ見ル
ト、或ハ運動會ガアノ學校ハ旨イカラ教育ガ良イトカ、教員
ガ馬鹿ニ手腕ガアル、或ハ展覽會ヲ見タ所ガドウモ習字ガ
範疇ニ旨カッタ、裁縫カ良カッタ云フヤウナ、枝葉末節ノ問題
ニ拘泥セラレテ居ル傾ガアルヤウニ思ヒマス、ソレデアリ
マスカラ昔ハ三年モ稽古スレバ十分デナクトモドウヤラ字
ヲ書イタモノデアリマス、以前ノ四箇年ノ時ニハ大抵ノ用
ガ足りタ所ガ六箇年ニ延長シタガ、今日ノ六箇年ヲ終ッテモ
昔ノ四箇年ト較べルト、洵ニ貧弱ナモノデアリマス、遙ニ劣
テ居ルト思ヒマス、諸君ガ何レモ皆子供ヲ育セラル、ニ相
違アリマセヌカラ、自分ノ家ノ子供ニ就テ見レバ一番早イ、
形式ハ流石ニ進ンデ居ルカ知リマセヌガ、内容ニ至ッテ六箇
年ノ卒業生徒ガ四箇年ノ卒業生徒ヨリ成績ガ悪イト云フコ
トヲ斷定スルニ躊躇スルコトガ出来ナイ、其故ニ先刻來義
務教育ノ延長ノ議論ガアッタケレドモ、義務教育ヲ延長スル
ノハ現在學力ガ低下シタカラシテ、之ヲ補充スル爲ニ延
長スルノデナイ、アレハ智徳ヲ増進サセルベク、二箇年分ダ
ケノモノヲ六箇年ニ追加ラシテ教育セシムルト云フニ違ヒ
ナイデセウ、ケレドモ今日ノ實際カラ言フテ六箇年デモ昔
ヨリ劣ッテ居ルカラソレヲ補充シテヤラナケレデナラヌト
云フ傾ニナツテ居ル、此點ヲ見マスト形式ニ走ッテ内容ヲ閑

却シテ居ルコトハ、甚ダ疑ハザルヲ得ナイ、之ニ付テ矢張此
四千万圓ト云フ増額ト同時ニ、此點ニ付テモ文部當局ノ一
大決心ヲ以テ教育者ニ注意ヲ與ヘテ貫ハナケレバナラヌ
コト、思ヒマスガ、此點ニ對スル御考ハ如何デアルカ伺ヒマ
ス

○鎌田國務大臣 鈴木君ノ御尋デアリマスガ、其教育ノ程
度ガ、年限ガ延長サレタニモ拘ラズ、當年ニ比シテ低下シテ
居ルト云フコトハ、俄ニ判斷スルコトガ出来ナイ、或ル場合
ヲ見レバサウ云フ事モアルケレドモ、個々ノ例ヲ見テ全般
ヲ評スルト云フコトハ、中々ムツカシイ、其教育ノ程度ガ低
下シタカ、或ハ向上シタカト云フコトノ結果ハ、總テノ方面
ノ——國ノ産業トカ、或ハ國ノ經濟トカ、或ハ其他萬般ノ事
ニ付テ、ソレガ反射シテ來ナケレバナラヌデアリマスカラ
ラ、先ヅ最近十年ヲ以テ其以前ノ十年ニ比スルト、日本ノ進
歩ハ以前ノ十年ヨリ次ノ十年ガ迅クナツテ居ル、ソレハ何ニ
依ルカト云ヘバ種々ノ原因モアルケレドモ、教育ガ矢張主
ナルモノニナツテ居ル、全般ノ統計ニ依ッテ見ルト、教育ガ低
下シタト云フコトヲ俄ニ斷定ハ出来ナイ、併ナガラ又御説
ノヤウニ末節ニ越リ、或ハ外面ニノミ越セテ、内容ヲ願ミナ
イヤウナ事モ隨分是ハ有ルヤウデ、又教育ト云フモノガ擴
ガレバ擴ガルダケ、サウ云フ様ナ皮相的ノ事モ殖ムルト云
フ、此弊ニ向ッテハ十分ナル注意ヲ加ヘテ、其弊ヲ除クト云
フコトニ努力シナケレバナラヌト云フ事ニハ、如何ニモ御
同感デアリマス、殊ニ國廣負擔金モ増額サレタコトデアリ
マスカラ、ソレ等ノ事ニ付テ督促スルト云フコトニモ、大ニ
便ヲ得タ譯デアリマス、成べく當局ハ只今ノ御説ノ趣意ヲ
達スルコトニ出來ル限リノ努力ハ致ス積リデアリマス

○鈴木隆委員 只今ノ事ニ對シテハ、矢張私ハ其邊ノ考ヲ
持ッテ居ルノデアリマシテ、ソレデ最後ニ御伺ヒ致シマス
ガ、以上ハ私ガ二點御伺ヒ致シタ事ニ付テ、何レヲ教育ノ
内容ヲ充實スルト云フコトニ付テハ、當局者モ御異存ハナ
イト思ヒマス、然ラバ内容ノ充實ト云フ事ニ付テハ、如何ナ
ル點ニ向ッテ注意ヲ拂フカト云フ事ニ付テ御伺ヒシテ見タ
イト思ヒマス、私ハ今日ノ教育者ノ一番知識ノ缺陷セル大
ナルモノハ、經濟上ノ知識ノ缺陷デアラウト思ッテ居リマス、
極ク簡明ナ實例ヲ擧ゲテ申上ゲルノデアリマスガ、夕刊新
聞ノ四頁、或ハ朝刊新聞ナラバ八頁若クハ十二頁ト云フモ
モノハ、日常生活上必須ナル知識ノ掲載アル、所ガ小學校
教員ナドニ其夕刊新聞ノ四頁若クハ朝刊新聞ノ八頁乃至十
二頁ヲ了解シ得ル者ガ何人アルカ、洵ニ曉天ノ星ト思ヒマ
ス、薩張リ分ラナイ、日常生活ノ知識ヲ授ケルト云フコトガ
教育ノ根本デアリマセウケレドモ、薩張リソレヲ知ラヌノ
デス、又具體的ノ例ヲ擧ゲテ申シマスト、一家ノ内デ私ノ家

ハ米ガ二斗要ル、三斗要ルト云フコトハ知ッテ居ルケレドモ、
然ラバ一斗ノ値段ハ幾ラダ聞カレタ時ニ、其値段ハ分ラ
ナイ者ガ多イ、又今日ノ倫敦電報ヲ見ルト、銀塊ガ高イ、銀
塊ガ高ケレバ何故ニ我國ニ宜イノデアルカト云フコトガ分
ラナイ、通貨ト云フモノヲ知ラナケレバ、正貨ト云フモノヲ
知ラヌト云フヤウナ事ガ非常ニ多イ、ソナナ事デハ到底
——唯々口ニ産業ノ競争トカ、歐米ト競争ト云ッテモ、出來得
ベキモノデアナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、米國ア
タリデハ、大抵ノ人ハ能ク物價ヲ知ッテ居ル、ソコデ物價調
節ナドト云フコトヲ政府等ガシナイデモ、新聞ニアル所ノ
小賣ノ物價ニ依ッテ、彼處ノ店ハ高イトカ安イトカ云フコ
トヲ、凡ソ家庭ノ妻若ガ判斷シテ居ル、ソレデアアルカラ彼處
ヘ行ッテ買ヘバ高イ、今買フノヲ控ヘヤウト云フノデ、自發
的ニ物價調節ガ行ハレル、是ハ逆モ日本デハ今日ノ制度デ
ハ行ハレルモノデアナイガ、ソレハ教育者其モノガ經濟上ノ
知識モ何モノデアリマシテ、言フベクシテ行ハレルモ
ノデアナイ、此點ニ付テ只今産業上經濟上ノ文相ノ御話モア
タノデアリマスガ、殊ニ文相ハ以前ニ慶應義塾ト云フ經濟
上ニ付テハ卓絶セル學校ヘ勤メラレタ方デアリマスカラ、
萬遺憾ハナイコト、思ヒマスガ、所ガ今日ノ教育者ト云フ
モノガ、左様ナ缺點ガアルト云フコトハ、矢張師範教育ニモ
大ナル缺點ガアル、私ハ或ル師範學校長ト話シタ時ニ、其校
長ガ四千万圓増額ノ事ニ付テ曰ク、何ダ三千万圓バカリ増
額シテ何ダ、西伯利亞出兵ニ何億ト云フ金ヲ使ッタト云フ
デハナイカ、外國貿易ハ日本逆調デアアル、國ハ今ニ倒レル
デヤナイカ、斯ウ云フ議論デアッタ、ソレカラ私ハ校長ニ言
タ、アナタ方ハ知ラヌカラソナナ事ヲ言フモノジヤナイ、
日本ハ五十五箇年間ノ内ニ、輸出超過ト云フ年ハ十九箇年
シカナイ、而モ國力ハ隆々トシテ進歩シテ居ルデハナイカ、
外國貿易ハ本年ハ入超過デアルト云フガ、昨年ニ較ベレバ順
調デハナイカ、ソナナ薄ペラナ議論ヲ聞イテ來テ、日本ガ
今ニモ倒レルト云フ、ソナナ事デハナイケナイト云フコト
ガアル、左様ナ風デアアルカラ、矢張學校ノ教員ガ經濟上ノ知
識ガ淺薄デアアルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスカラ、此
點ハ十分ナル御決心ヲ以テ當ラレンコトヲ望ムト同時ニ、
若シ其方法ガアッタナラバ、今回ノ金額増加ト共ニ其方法ノ
一一ノ案ガアッタラ、御示シテ願ヒタイ、モウ一ツ附加ヘテ
伺ヒタイノハ、斯ウ云フ説ガアル、是ハ私ハ信ジマセヌケレ
ドモ序ニ伺ヒタイ、教育者ニ向ッテ餘リ經濟上ノ知識ヲ與
ルト云フト、轉業サレル處ガアル、斯ウ云フコトデアリマス、
アマリ經濟上ノ知識ガ出來テ來ル、斯ウ云フコトデアリマス
カラ、一ツ銀行員ニナラウカ、何處カ會社員ニナツテ見ヤウ
ト云フヤウナコトヲ當局者ハ氣遣ハレル、ソレダカラ成ベ

ハ米ガ二斗要ル、三斗要ルト云フコトハ知ッテ居ルケレドモ、
然ラバ一斗ノ値段ハ幾ラダ聞カレタ時ニ、其値段ハ分ラ
ナイ者ガ多イ、又今日ノ倫敦電報ヲ見ルト、銀塊ガ高イ、銀
塊ガ高ケレバ何故ニ我國ニ宜イノデアルカト云フコトガ分
ラナイ、通貨ト云フモノヲ知ラナケレバ、正貨ト云フモノヲ
知ラヌト云フヤウナ事ガ非常ニ多イ、ソナナ事デハ到底
——唯々口ニ産業ノ競争トカ、歐米ト競争ト云ッテモ、出來得
ベキモノデアナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、米國ア
タリデハ、大抵ノ人ハ能ク物價ヲ知ッテ居ル、ソコデ物價調
節ナドト云フコトヲ政府等ガシナイデモ、新聞ニアル所ノ
小賣ノ物價ニ依ッテ、彼處ノ店ハ高イトカ安イトカ云フコ
トヲ、凡ソ家庭ノ妻若ガ判斷シテ居ル、ソレデアアルカラ彼處
ヘ行ッテ買ヘバ高イ、今買フノヲ控ヘヤウト云フノデ、自發
的ニ物價調節ガ行ハレル、是ハ逆モ日本デハ今日ノ制度デ
ハ行ハレルモノデアナイガ、ソレハ教育者其モノガ經濟上ノ
知識モ何モノデアリマシテ、言フベクシテ行ハレルモ
ノデアナイ、此點ニ付テ只今産業上經濟上ノ文相ノ御話モア
タノデアリマスガ、殊ニ文相ハ以前ニ慶應義塾ト云フ經濟
上ニ付テハ卓絶セル學校ヘ勤メラレタ方デアリマスカラ、
萬遺憾ハナイコト、思ヒマスガ、所ガ今日ノ教育者ト云フ
モノガ、左様ナ缺點ガアルト云フコトハ、矢張師範教育ニモ
大ナル缺點ガアル、私ハ或ル師範學校長ト話シタ時ニ、其校
長ガ四千万圓増額ノ事ニ付テ曰ク、何ダ三千万圓バカリ増
額シテ何ダ、西伯利亞出兵ニ何億ト云フ金ヲ使ッタト云フ
デハナイカ、外國貿易ハ日本逆調デアアル、國ハ今ニ倒レル
デヤナイカ、斯ウ云フ議論デアッタ、ソレカラ私ハ校長ニ言
タ、アナタ方ハ知ラヌカラソナナ事ヲ言フモノジヤナイ、
日本ハ五十五箇年間ノ内ニ、輸出超過ト云フ年ハ十九箇年
シカナイ、而モ國力ハ隆々トシテ進歩シテ居ルデハナイカ、
外國貿易ハ本年ハ入超過デアルト云フガ、昨年ニ較ベレバ順
調デハナイカ、ソナナ薄ペラナ議論ヲ聞イテ來テ、日本ガ
今ニモ倒レルト云フ、ソナナ事デハナイケナイト云フコト
ガアル、左様ナ風デアアルカラ、矢張學校ノ教員ガ經濟上ノ知
識ガ淺薄デアアルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスカラ、此
點ハ十分ナル御決心ヲ以テ當ラレンコトヲ望ムト同時ニ、
若シ其方法ガアッタナラバ、今回ノ金額増加ト共ニ其方法ノ
一一ノ案ガアッタラ、御示シテ願ヒタイ、モウ一ツ附加ヘテ
伺ヒタイノハ、斯ウ云フ説ガアル、是ハ私ハ信ジマセヌケレ
ドモ序ニ伺ヒタイ、教育者ニ向ッテ餘リ經濟上ノ知識ヲ與
ルト云フト、轉業サレル處ガアル、斯ウ云フコトデアリマス、
アマリ經濟上ノ知識ガ出來テ來ル、斯ウ云フコトデアリマス
カラ、一ツ銀行員ニナラウカ、何處カ會社員ニナツテ見ヤウ
ト云フヤウナコトヲ當局者ハ氣遣ハレル、ソレダカラ成ベ

ハ米ガ二斗要ル、三斗要ルト云フコトハ知ッテ居ルケレドモ、
然ラバ一斗ノ値段ハ幾ラダ聞カレタ時ニ、其値段ハ分ラ
ナイ者ガ多イ、又今日ノ倫敦電報ヲ見ルト、銀塊ガ高イ、銀
塊ガ高ケレバ何故ニ我國ニ宜イノデアルカト云フコトガ分
ラナイ、通貨ト云フモノヲ知ラナケレバ、正貨ト云フモノヲ
知ラヌト云フヤウナ事ガ非常ニ多イ、ソナナ事デハ到底
——唯々口ニ産業ノ競争トカ、歐米ト競争ト云ッテモ、出來得
ベキモノデアナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、米國ア
タリデハ、大抵ノ人ハ能ク物價ヲ知ッテ居ル、ソコデ物價調
節ナドト云フコトヲ政府等ガシナイデモ、新聞ニアル所ノ
小賣ノ物價ニ依ッテ、彼處ノ店ハ高イトカ安イトカ云フコ
トヲ、凡ソ家庭ノ妻若ガ判斷シテ居ル、ソレデアアルカラ彼處
ヘ行ッテ買ヘバ高イ、今買フノヲ控ヘヤウト云フノデ、自發
的ニ物價調節ガ行ハレル、是ハ逆モ日本デハ今日ノ制度デ
ハ行ハレルモノデアナイガ、ソレハ教育者其モノガ經濟上ノ
知識モ何モノデアリマシテ、言フベクシテ行ハレルモ
ノデアナイ、此點ニ付テ只今産業上經濟上ノ文相ノ御話モア
タノデアリマスガ、殊ニ文相ハ以前ニ慶應義塾ト云フ經濟
上ニ付テハ卓絶セル學校ヘ勤メラレタ方デアリマスカラ、
萬遺憾ハナイコト、思ヒマスガ、所ガ今日ノ教育者ト云フ
モノガ、左様ナ缺點ガアルト云フコトハ、矢張師範教育ニモ
大ナル缺點ガアル、私ハ或ル師範學校長ト話シタ時ニ、其校
長ガ四千万圓増額ノ事ニ付テ曰ク、何ダ三千万圓バカリ増
額シテ何ダ、西伯利亞出兵ニ何億ト云フ金ヲ使ッタト云フ
デハナイカ、外國貿易ハ日本逆調デアアル、國ハ今ニ倒レル
デヤナイカ、斯ウ云フ議論デアッタ、ソレカラ私ハ校長ニ言
タ、アナタ方ハ知ラヌカラソナナ事ヲ言フモノジヤナイ、
日本ハ五十五箇年間ノ内ニ、輸出超過ト云フ年ハ十九箇年
シカナイ、而モ國力ハ隆々トシテ進歩シテ居ルデハナイカ、
外國貿易ハ本年ハ入超過デアルト云フガ、昨年ニ較ベレバ順
調デハナイカ、ソナナ薄ペラナ議論ヲ聞イテ來テ、日本ガ
今ニモ倒レルト云フ、ソナナ事デハナイケナイト云フコト
ガアル、左様ナ風デアアルカラ、矢張學校ノ教員ガ經濟上ノ知
識ガ淺薄デアアルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスカラ、此
點ハ十分ナル御決心ヲ以テ當ラレンコトヲ望ムト同時ニ、
若シ其方法ガアッタナラバ、今回ノ金額増加ト共ニ其方法ノ
一一ノ案ガアッタラ、御示シテ願ヒタイ、モウ一ツ附加ヘテ
伺ヒタイノハ、斯ウ云フ説ガアル、是ハ私ハ信ジマセヌケレ
ドモ序ニ伺ヒタイ、教育者ニ向ッテ餘リ經濟上ノ知識ヲ與
ルト云フト、轉業サレル處ガアル、斯ウ云フコトデアリマス、
アマリ經濟上ノ知識ガ出來テ來ル、斯ウ云フコトデアリマス
カラ、一ツ銀行員ニナラウカ、何處カ會社員ニナツテ見ヤウ
ト云フヤウナコトヲ當局者ハ氣遣ハレル、ソレダカラ成ベ

ク經濟上ノ知識等ハ授ケズニ押ヘ付ケテ置クト云フヤウナ
コトカラシテ、教育者ノ知識ガ此點ニ於テ淺薄デアアルナド
ト云フヤウナコトヲ申シマス、是ハ私ハ餘リ信ジマセヌケ
レドモ、併シ斯ウ云フ事ニ依ッテ私ハ多少考ヘルノデス、他
ノ例ニ依ッテ考ヘル、他ノ例カラ推斷スルノハ餘リ失禮カモ
知レマセヌガ、吾々ノ友人間ニ商店ヲ經營シテ居ル人ガア
ル、其人ハ店員ニ月給ヲ餘リ多ク與ヘテ、店員ガ財產ヲ殖
ルルト云フコトヲ喜バヌ、店員ニ財產ガ出來ルト云フト、店
務ヲ怠ラヌト云フヤウナコトヲ本則トシテ居ル、是等カ
ラ推斷シテ見ルト、文部當局者モ其ダカラサウ云フコトガ
アリハシナイカト云フコトヲ疑ハレルノデアリマス、其點
ニ付テ一ツ腹藏ナク御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○鎌田國務大臣 只今經濟上ノ觀念ニ乏シイ爲ニ、色々ノ
弱點ヲ生ジテ居ルト云フコトハ、私共モ先ヅ大體ニ於テハ
御同意デアアル、隨テ是ハ教育ガ宜シキヲ得ナイ、是ハマア餘
程ムツカシイ話デ、教育ニ大ニ關係スル、併ナガラ社會ト云フ
モノノ、狀態ニ非常ニ依ル事デアリマシテ、例ヘバ取引所ノ
小僧ラシテ居レバ、何ノ事モ聞カヌデモ相場ノ事ガ頭ノ裡
ニ浸ミ込メテ居ル、又都會ニ生活シテ居ルモノノナラバ、自ラ
商業ノノ考モ持ッテ居ル、農村ニ居ルト云フコトヲサウハ行カ
ナイ、邊境ノ感化ト云フモノガ大變ニ力ヲ持ツ、又例ヘバ倫
敦紐育ト云フヤウナ所デアリ、又東京ニ育ッテ居ル子供
ト、大阪ニ育ッテ居ル子供ト、日本ノ内デモ、大阪ニ育ッ
タ子供ハ、東京ニ育ッテ居ル子供ヨリモ餘程經濟ノ考ガアル、
ダカラ社會ノ感化ト云フコトモ餘程多イ、是モ教育デア
ル、併ナガラ學校ニ於ケル教育ニ於テ此觀念ヲ養フコト云フ
コトモ、是モ決シテ疎カニスル譯ニイカヌ、サウシテ見レバ
師範學校教育ニ於テモ、經濟ノ觀念ヲ持ッテ居ルヤウニ教育
スル、ソレハ法制經濟ノ學科モアリマセウケレドモ、ソレモ
併シ教ヘ方等ニ依ッテハ、良結果ヲ生ジナイカモ知レマセヌガ、
色々ノ學科ヲ實ハ師範學校ニ於テハ、學科トシテヤラヌノデ
アリマス、カ、教育上ニ於ケル教授ニ依ッテ、何處マデモサ
ウ云フ觀念ヲ養ヒ得ルカト云フト、中々ソレダケデハイカ
ヌガ、只今ノ御話ノヤウナ觀念ハ、實ハ日本ハ頗ル幼稚デア
ルト云フノハ、五十年前マデハ純然タル封建政治デアッタノ
ガ、各國ト交際ヲ開キ、通商ヲ開キ、始メテ先ヅ年所ヲ經テ
來タガ爲ニ、今日進ンデ居ルノデアリマス、カ、是モ先刻申
シマシタ通り、十年前ニ比シテ行クト云フト、觀念ハ中々進
ンデ居ル、或人ハサウ云フ觀念ガ進ミ過ギテ困ルト云フコ
トヲ啣ッテ居リマスガ、ソレハ取ルニ足ラナイ、私ハ社會ガ
進歩スルト同時ニ、其經濟ノ觀念ト云フモノハ、必要ニ追ラ
レテ段々青年ノ頭ニモ發揮シテ來ルト云フコトハ、是ハ確
ニ信ジテ居ル、教育ニ於テモソレヲ重要ナル要素トシテ教

ヘナケレバナラヌ、平生ノ心掛ニ於テモ、ソレヲ大ニ教ヘナ
ケレバナラヌト云フコトハ、是ハ御説ノ通りデアラウト思
ヒマスガ、先ヅ當局トシテ今ノ學科ヲ如何ニスルカト云フ
コトニ付テハ、學科ノ力ニ依ッテドウスルト云フコトハ、今
ノ所デハ餘リ出來ナイガ、併シ其心持ヲ以テ殖産興業ヲ盛
ニシテ、教育ニ於テモ其邊ノ觀念ヲ養フコトハ、是ハ
大ニ大切ノ事デアアル、質實剛健ノ氣風ヲ養フコト同時ニ、又經
濟ノ觀念ヲ養成スルコトガ必要デアラウト考ヘテ居リマス
○鈴木隆委員 最後ニ一言致シマス、此頃流行ノ言葉ト
ナッテ、甚ダ遺憾ニ感ジマスガ、ソレハ現代ニ適切ナル教育
ヲ施スト云フヤウナコトガ能ク言ハレル、是ハ無論惡イコト
デハアリマセヌ、併シ現代ニノミ適切ナル教育ヲ考ヘシテ
大ニ困ル、其兒童ガ十年ナリ七八年ナリ後ニナッテ、而シテ
國民トシテ活動スルノデアアルカラシテ、寧ロ十年二十年先
ヲ達觀シテ所ノ教育ヲ施シテ實ハナケレバナラヌ、中々ム
ツカシイ事デアリマス、併シムツカシイケレドモ、此ムツカ
シイ位ノ仕事ハ、名文相ノ頭腦ニ依ッテ解決シナケレバ解決
スル時ガナイ、現代ニ必要ナル教育ヲ施ス位ナラバ、總テ十
年タツト云フト新シイコトガ出來ル、殊ニ七十、八十ノ老人
ノ説ヲ聽イテ、マサカ三十臺四十臺ノ人ガ敬服スルト云フ
コトハ、甚ダ時代錯誤ノ至リデアアルト思フ、隨テ此現代ニ適
切ナル教育ヲナサズシテ、前途數十年ヲ見抜イテ教育ヲ授
ケテ、而シテ此被教育者ノ時代ニ之ヲ活動セシムルノニ、現
代ヲ以テ満足シナイト云フコトノ御方針トシテ教育ヲ施サ
レンコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切リマス

○鎌田國務大臣 只今ノ御希望ハ至極御尤ト思ヒマス、教
育ハ時代ノ國民ヲ造リ、常ニ將來ト云フコトヲ頭ノ上ニ置
イテ之ヲ行ッテ居ルト云フコトハ、是ハドウシテモ忘レテハ
ナラヌ、過去ノ事、現在ノ事ガ教育デアッテモ、此教育ナルモ
ノハ常ニ社會ノ進退ニ遲レ勝テチノモノデアアル故ニ、ドウシ
テモ將來ノ進退ト云フコトヲ勘定ノ中ニ入レテ、ソレニ適
應順應スベク教育ヲ施サナケレバナラヌ、此點ニ於テハ頗
ル御同感デアリマス、其爲ス所ノ方法ニ至ッテハ、是ハ色々
デアリマス、精神ハ其所ニ在ルト云フコトハ、頗ル御同感デ
アリマス

○田中委員長 樋口君ニ御相談致シマスガ、餘リ御長クナ
ケレバ、此際續イテ貴方ノ願番デ、一ツ御質問ヲ許シマス
○樋口委員 私人ハ二十分位デスガ
○田中委員長 其前ニ一寸諸君ニ御諮リ致シマスガ、理事
ノ山邑太三郎君ガ御辭任セラレマシテ、其補缺トシテ松下
禎二君ガ委員ニナリマシタノデアリマスガ、山邑君ハ義ニ
皆様ノ御推薦ニ依リマシテ、理事ニナッテ居ラレマス、ノデ、
其理事ノ補缺ガ要ルノデアリマスガ、御異議ガナケレバ松

下君ヲ理事ニ御選定シテ戴キタイト思ヒマスガ……
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○田中委員長 ソレデハ松下君ガ理事ニ御當選ニナツタコ
トニ取計ヒマス、ドウゾ樋口君……

○樋口委員 私人ノ御尋ネシタイノハ五箇條デアリマスガ、
私ハ本日少シ遲レテ參リマシタノデ、大津君ノ質問ト文相
ノ應答トヲ全部聽キ得マセヌデシタガ、途中カラ伺タ所デ
見マスルト、文部大臣ニ於カレテモ、今回義務教育費ノ國庫負
擔ノ額ヲ三千万圓ニ増額サレタト云フコトニ付テハ、極メ
テ結構ナ事デアリマスガ、マダ其程度ニ於テ不十分デアアル、
財政ノ狀況ガ之ヲ許サヌガ爲ニ、已ムヲ得ズシタノデア
テ、餘裕ガアレバ尙ホ擴張シタイ希望ヲ持ッテ居ルト云フ風
ニ言明ナス、タト伺ッテ居リマスガ、果シテ其如クデアルナ
ラバ甚ダ結構デアリマス、之ト關聯シテ伺ヒタイ事ハ、衆議
院ガ一致テ義務教育費ノ國庫負擔額增加ト云フ要求ノ建議
案ヲ出シタ其以前、臨時教育會議ニ於テモ此希望ガ出デ、又
貴族院ニ於テモ斯カク希望ガ出マシタ、其當時ハ大正九年
度ヲ標準ニ取ッテ思ヒマス、即チ大正九年度ニ於キマシテ
ハ、教育費ガ一億四千万圓乃至六千万圓デアッタ、此標準ニ
依ッテ起算致シマシテ、其半額少クトモ五千万圓マデハ國庫
負擔額ヲ增加シテ貰ヒタイト云フコトガ、貴衆兩院及教育
會議ニ希望デアッタト思ヒマス、ソレ故ニ昨年ニ至ルマ
デ吾々モ四千万圓増額ヲシテ、五千万圓ニシテ戴キタイト云
フ希望ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、是ハ全院一致ノ決議デア
ッタ、本年財政ノ狀況上五千万圓ニナラナイトスレバ、已ムヲ
得ズ此改正法ニ依ル四千万圓デモ、是ハ爲サニ勝ル、所
ガ吾々ノ希望デアッタ五千万圓ト云フ金ハ、十一年度ニ於
テハ非常ニ増加ニナッテ居ル、私ノ計算ニ依レバ、約一億二
千七百万圓ト云フモノガ教育費ニ當ッテ居リス、此半額ト云
フコトヲ標準ニ取リマスレバ、六千万以上國家ニ於テ負擔
スベキ必要ヲ見ルノデアリマス、之ヲ文部大臣モ御認メニ
ナッテ居ルカ如何ト云フコトガ、一ツ、之ト關聯致シマシテ、
此四千万圓ナルモノヲ進ンデハ六千万圓モ國庫ガ負擔致シ
タ時ニ、地方デハ此教育費ノ負擔ガ重イカラ、其穴埋メニシ
テシマウト云フノミデハ、吾々ノ建議ノ趣旨ニ少シク違反
スルト思フ、吾々ノ趣旨ハ、地方ノ負擔ヲ輕減スルト同時
ニ、小學教育ノ内容ヲ充實シタイト希望スルノデアリマス、
サスレバ之ト關聯致シマシテ、先刻來御質問ノデアリマシタ
代用教員ノ數ヲ減ジ、或ハ准教員ヲ正教員ニ換ヘテ行クト
カ、或ハ男女教員ノ配當ヲ如何ニスルカト云フヤウナ、種々
ノ問題モ出テ參リマス、ルシ師範教育ノ實際ニ付テモ問題ガ
起ッテ來ル筈デアリマス、ソレデハ此増額ニ付テハ、出來得ベク
ンバ今日ノ狀況デハ尙ホ二千万圓ノ増額ヲシタイト云フ、

此負擔シマシタ費用ヲ、地方ノ經費節減ノミニ用ヒテシマツテ、更ニ内容改善ノ實ヲ學ゲナイ町村ニ對シテハ、相當ノ監督權ノ下ニ於テ、或ル種ノ手段ヲ執ル御積リハアリマセスカドウカト云フコトヲ一ツ伺フテ置キマス

○鎌田國務大臣 樋口君ニ御答致シマス、第一ノ所謂教員給半額ニ達セシメタル爲ニ増額スル希望アルヤ否ヤト云フコトハ、希望アリマス、成べく早く之ヲ實現シタイ、財政ノ事情ガ許ス以上ハ、半額ニ達スルコトヲ希望シテ居ル次第デアリマスカラ、此點ニ於テハ御同感デアリマス、而シテ此町村ノ財政ヲ救済スルコト云フ、ソレカラシテ一方ハ教育ノ改善向上ヲ圖ルト云フ此二ツノ關係デアリマスガ、是ハ要スルニ區別ヲ付ケテ論ズレバ區別ガ付キマスケレドモ、同ジ事デアリマシテ、教員給ノ半額ヲ國庫ガ負擔スルコトニナリマス、或ル町村ニ於テハ半額以上、或ハ半額進行カズニ、其以下ニ止リテ居ルト云フ、色々違フテ來ルダラウト思ヒマスケレドモ、其國庫負擔金ノ目的ト云フモノハ、教員給ノ一部ヲ負擔スルコト云フコトデアリマスカラ、半額以上カ半額以下カハ分リマセヌケレドモ、教員給ノ或ル部分ヲ負擔スルト云フ、此以外ニハ之ヲ使ハナイノデアリマスカラ、サウシテ見レバ良イ教員ヲ雇フコト云フ便宜モアリ、代用教員ヲ正教育ニ換ヘルト云フ便宜モ得テ、教育ノ向上ノ爲ニナルト同時ニ、町村ノ財政ヲ救ヘルト云フコトハ、是ハ私ハ共通ノ事デアリマシテ、無論教育ノ向上スルコトガ直接町村ノ經濟ヲ救フコトニモナラテ來テ、今日ノ處デハ町村ノ經濟ハ非常ニ苦シイモノデアルカラ、之ヲ以テ少クトモ町村ノ經濟ヲ緩和シヤウト云フ考ハアリマスケレドモ、ソレハ矢張教育ノ程度ヲ向上スルコト云フコトニナラテ來テ、甲乙二ツノ目的ヲ別々ニ分ケテ考ヘナクテモ、立派ニ二ツノ目的ガ、即チ一ツノ力ニ依ッテ二ツノ目的ガ同時ニ達セラレルト云フモノト私ハ考ヘテ居リマスガ、併ナガラ尙ホ町村ノ經濟ガ段々ニ餘裕ヲ生ジテ來レバ、先ヅ教育ノ方ニ向ッテ專ラ之ヲ使フコトモ出來ルダラウト思ヒマス、尙ホ其程度以下ニ今日教育ノ下ッテ居ル例ヘバ代用教員以上ヲ使フコトガ出來ナイト云フヤウナ處ハ、成べく此國庫負擔金ノ分配ニ依ッテ、ソレデ良イ教員ヲ使ウテ、是デ教育ノ向上ヲ圖ルト云フコトニ十分督勵ヲ致シマシテ、監督ヲ致スト云フ積リデアリマス

○樋口委員 只今ノ前段ノ御答ハ、極メテ満足デアリマスガ、後段ノ御答モ、略々了承致シマシタ、私ノ伺フ所ハ、今回ノ配當率ニ依リマシテ、貧弱町村ノ如キ代用教員ヲ多ク使ッテ居ル町村、其町村ガ半額ノ補助ヲ受ケルコトニナリマス、ソレヲ外ノ仕事ノ方ニ使ッテ例ヘバ道路トカ橋梁トカ云フモノニ使ッテ仕舞フテ、教育ノ内容改善ニ使ハヌ時ニハ、監督權ヲ持ッテ居ル所ノ文部大臣ハ、相當ノ處置ヲ執ルダケノ御考ガアルカドウカ、其點ヲ伺ヒマス

○鎌田國務大臣 成べく監督ヲ致シマシテ、代用教員ヨリモ正教員ヲ使ヒ得ルナラバ使ハセルト云フコトニ努メル積リデアリマス

○樋口委員 第二ニ御尋ネ致シマスノハ、教員ノ實質ヲ向上セシムル上ニ於テ、一方ニ於テハ代用教員ニ換ヘルノニ正教員ヲ以テスルト云フ一方デアリマスガ、又教員ノ供給關係カラ言フテモ、今回文理科大學ト云フ名前ノ下ニ、事實ノ師範大學ヲ設置サル、希望ガアルヤウデスガ、是ハ結構ノ事デアリマスガ、師範大學ト云フモノニ就テ、入學スル者ニハ、師範學校カラ這入ル者ト、中學校カラ高等學校ヲ經テ這入ル者トノ間ニ、年限ノ差異ガアリマス、同ジ質ノ教員ヲ作ル爲ニ、或ル者ハ七年九年ヲ要シ、又ハ十一年位ヲ要スルト云フコトハ、制度ノ上カラ見テ、甚ダ不完全デアルト思ヒマス、是等ノ問題ヲ統一シ解決スルノニ、師範教育令ヲ改正シ、一步ヲ進メナケレバナラヌ、其師範教育令ノ改正、又師範大學ノ事ニ關シテ、何等カ御成案ガアリマスカラバ伺ッテ置キタイ

○鎌田國務大臣 師範教育ノ制度ノ改正又ハ師範教育ノ内容ノ改善ト云フコトニ付キマシテハ、只今致究致シテ居リマス、何レノ日カ之ヲ實現シタイト思フテ居リマス、尙ホ臨時教育會議ニ於テ、師範制度ト云フモノハ現狀ニ止メテ置イテ、内容ヲ充實スルコト云フコトニナラテ居リマス、併ナガラ是ハ年所ノ經路ト同時ニ、ソレニ拘泥スルコト云フコトヲ必要トセヌカモ知レマセヌガ、只今致究中デゴザイマス

○樋口委員 只今ノ御答ノ中デ、此臨時教育會議ニ於テハ、師範教育ノ制度ハ其儘デアルト云フコトデアリマスガ、如何ニモサウ解スルコトガ出來ルノデアリマス、併シ私ハ臨時教育會議其物ガ完全無缺ナリトハ思ヒマセヌケレドモ、今質問ヲ發シヤウナ譯デ、文部當局ニ於テ御考ガアルナラバ、一日モ早く此調査ヲ御進メニナルコトヲ望ムデ此質問ハ止メマス、其次ニハ此御提出ニナリマシタ參考表ノ中ニ、教員俸給等ニ就テ、十一年度マデノ學級數ノ増加、兒童數ノ増加ニ就テハ、何方其間ニ餘地ガアルノデハナイカト推測スルモノデアリマス、ト云フノハ他デモアリマセヌガ、是ニ聯關シマシテ、昨年井上角五郎君ガ御提案ニナツタ教育費整理節約ヲスレバ、三割四割位減ルト云フ偉イ御希望ガアリマシタ、此問題ノ會議ニ於テ議論ガ沸騰シタコトハ御記憶ノ通りデアリマスガ、其結果、臨時教育行政調査ト云フモノガ總理大臣直屬ト云フ名ノ下ニドシク會議ガ續ケラレマシテ、此案ニ就テハ世上幾多ノ批評ガアリマシタケレ

ドモ、兎ニ角曲リナリニモ出來タノデアリマス、文部大臣ハ之ニ依ッテ訓令ヲ出サレテ居リマスガ、其效果ガ果シテ其處ニ現ハレテ居ルカ、教育費ノ整理節約ト云フコトガ此表ニ御示シニナツテ居リマセヌガ、大正九年度以後ノ學級數ノ増加等ニ付キマシテハ、表ガアリマセヌカラ分リマセヌ、又兒童數ノ増加モ表ガアリマセヌカラ分リマセヌ、併シ此案ニ於テハ、二部教授ヲヤルトカ、三學級併合教授ヲヤルトカ、教育ト云フコトノ實際ノ上ニ於テ無理ナ事ヲヤツテ居ル、ソレデ整理節約ニナツテ、義務教育ノ負擔ガ減ルカノ如キ體裁ヲ裝ハレタヤウデアリマシタガ、其效果ガ現ハレテ居ルノカドウカハ、此表デハ分リマセヌガ、ドノ位ノ程度ニ於テ九年度以後十年十一年ノ増加ノ率ガ違フタカ、是ハ學級數ニ對シテ率ガ前年ヨリ遙ニ減少シタトスレバ、ソレハ恐クハ二部教授又ハ三學級併合教授ノ結果デアアルマイカ、是ハ教育ノ實質ノ改善ヲ逡巡セシムルト云フヤウナ結果ニ相成ッテ居ル、此表デハ更ニソレガ分ラヌ、デ彼ノ所謂整理節約ナル御名案ハ、ドノヤウナ效果ガ現ハレテ居ルノデアリマスカ、伺ヒタイ

○山崎政府委員 只今參考表ニ付テノ御話ガアリマシタガ、一應聲明ヲ申上ゲテ置キマス、此教員數ト學級數ノ關係ヲ大正九年ニ止メテ居リマスルハ、文部省ノ年報材料ニ依ッテ居リマスルノデ、大正九年迄シカ實ハ材料ガアリマセヌ、尤モ十年、十一年ハ一定ノ率ニ依ッテ推定致シマシタモノハ、此處ニ持ッテ居リマスル、是ハ推定デアリマシテ、御手許ニ差上ゲマシタ標準ニ依ッテ致シテ居リマシタ、別ニ他意ハアリマセヌ、ソレカラ此教員ノ平均給 兎ニ角豫算當局ハ特ニ此負擔法ノ調査ノ爲ニ急イデ取りマシテ、大正十一年度ノ材料ガ整ッテ居リマスノデ、ソレニ御廻シ致シテ居リマス譯デアリマス、其學級數、兒童數ノ關係ハ、只今申上ゲタニ、例年通りト思ヒマス、其點ガケテ左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ節約ノ效果ハドコニアラカト云フ御意見デアリマスガ、其結果、此大正十一年度邊ノ材料ガ、地方ノ學級數其他ニ付テノ事ハ數字のニ申上ゲルコトハ出來ナイト思フ、只今此處ニ持ッテ居リマスルノモ、既往數年ノ率ニ依ッテ推定シタノデアルト云フ所カラ、是ハドウモ正確ノ事實ニ合フト云フコトハ申上ゲラレマセヌ、結局只今ノ所デ、ドウ云フ影響ガアッタト云フコトデ、數字ヲ申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○樋口委員 此教員數ノ標準ニ付テ見マスルト云フト、大正九年即チ建議案ノ出マシタ大正九年ノ時カラ、段々増加率ヲ見マスルト云フト、九年十年ハ教員ノ數ガ非常ニ減ッテ居リマス、十年、十一年ハ、九年ニ比スレバ教員ノ數ガ減ッテ居リマス、是ハ必要ガナクテ減ッタノカ、ソレトモ地方ノ財

政ノ窮極ノ結果、已ヲ得ズスウ云フ風ニ減ツクノデアアルカ、即チ二部教授トカ、併合教授等ノ間ニ合セテ結果斯クナツクノデアアルカ、其關係ヲ伺ヒタイ

○山崎政府委員 教員數方九年ハ七千六百八十七人、十年ハ六千九百人、十一年ハ五千二百人ト減テ居リマス、此關係ハドウモ其當時ノ事情ニ依リマスノデ、兒童ノ數方或年ハ非常ニ多ク、又其次ノ年ハソレ程デモナイト云フ譯デ、隨テ、此學級増加ノ關係ガ必ズシモ一律ニハ參リマセズ、年ニ依ッテ多少ノ増減ガアル譯デアリマスカラ、隨テ此教員數ノ増加ノ歩合等モ、或ハ非常ニ多イコトモアリマスシ、減ルコトモアリマス、是ハドウモ其一定ノ率ヲ以テ進ムト云フコトハアリマセズ、是ハドウモ其一定ノ率ヲ以テ進ムト云フコトハアリマセズ、左様ナ關係デ此教員數ノ増加歩合ハ、十年十一年ハ九年程ハナイト云フコトダケデアルマイカト思ヒマス

○樋口委員 此豫定標準ニ依ッテ見マスト云フト、ドウ云フ風ナ關係ニナリマスカ、學級數兒童數及教員數ノ増減ノ率ヲ、豫定ノ表デ宜シイカラ御示シテ願ヒタイ

○山崎政府委員 大正十年ノ學級數ノ推定デテリマスルガ、ソレガ十六万七千四百六十九人、大正十一年ノ推定數ガ、一万七千六百五十六、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○樋口委員 此表ノ終リニアリマスヤウナ前年度ニ對スル増減率ト云フコトハ、畢竟ドウシタコトニナツテ居リマスカ、是ハ私ノ質問ノ時間ヲ制限シマシタカラ、後ニ御調ノ上、表ヲ提出シテ頂キタイ、是ハ一先ヅ打切ツテ、次ノ豫定表ノ結果ヲ伺フタ其上デ再質問ヲ致スカモ知レマセズ、第五ニ伺ヒタイノハ、此改正法ノ規定デアリマス、規定ノ事モ今御尋ノ分ニシテ宜シウゴザイマス

○田中委員長 宜シウゴザイマス

○樋口委員 是方私ノ質問シマシタ處トハ、餘程變ッテ居リマシテ、法文ガ改訂サレタヤウデアリマスガ、是デモ法文ノ體裁上カラス様ニナツタノデアリマスガ、先ニ新聞紙ニ現レタノニ依ルト、現代ノ數學デハ計算出來ヌト云フヤウナモノデアリマシタガ、之ヲ見マスト、ソレナ事ハアリマセズガ、第一ニ此四千万圓ト云フ國庫負擔額ノ中カラ眞先ニ引去ルベキモノガ最後ニ出テ居リマス、此第五條デアリマス、是ハ先ヅ眞先ニ引去ルベキモノデアリマス、ソレカラ第三條ニ出テ居リマス、國庫支出金ハ第五條ノ交付金額ヲ除キ其三分ノ二ハ市町村ニ、三分ノ一ハ第四條ノ交付金額ヲ除キ町村ニ、云々ト書イテアリマスガ、是方不明デアリマス、ソレカラ第五條ガ分ラヌ、第五條ニ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒテ資力其他ノ事情ニ依リ必要アリト認メタル町村ニ對シ國庫支出金ノ十分ノ一ヲ超エサル範圍内ニ於テ特ニ金額ヲ增加スルコトヲ得「ト書イテアル、是ハ恰モ文部省カラ此參

考書ナドニ依ッテ、御調査ニナツテ、ドレ位ノモノヲ繰入レルガ適當デアルト云フ頭腦ノアルカノ立法サレタトスレバ適當スルガ、ソウ云フコトノナイモノガドウシテ此計算ガ出ルカ、此三分ノ二ト云フノハ、市町村ニ遣ッテシマウト極メテ、而モ残り三分ノ一カラ此金額ヲ引去ル様ニナツテ居ルガ、何故第五條ノ資力薄弱町村ニ對スル交付金カラ引去ラズニ、此第四條ノ町村ニ對スルモノカラ引去ラヌカ、此ガ不明デアリマス、而モ其次ニ追加款項ガ二項アツテ、前項ノ増加交付金ノ總額ハ前條ノ規定ニ依リ市ニ交付スル金額ノ十五分ノ一ヲ超エルコトヲ得ズ「トアリマスガ、ソレダケノ金額ヲ恰モ引去ラヌカ、町村ニ配布スルト云フヤウナ立案ヲナスカ、何カ據ル所ガアツテ、コトデアリマスガ、又ハ理論トシテ斯ウ云フ事ハ適當デアアル、尙ホ此參考書ニ依ルト五千七百四十一圓トナツテ居リマスガ、十五分ノ一ダケノ缺テ切ツタヤウニ二百萬圓ト云フモノヲ御計上ニナツテ居ルガ、斯ウ云フ數ノ出ル計算ノ標準ガ分ラナイ、ドウシテ此處デ二百萬圓ト云フ數ガ出タカ、其二百萬圓ハ全體ノ貧窮町村ニ特別交付スベキモノニ付テ取ラヌ、一般ノ町村ノ方カラ取ラレタ理由ガ分ラナイ、市町村ニ配付スベキ中デ之ヲ取ラレタ方ガ相當カト思フガ、ソレモ分ラナイ、ソレ等ノ點ガ立法ノ理由ガ私ニ不明デアリマスカラ、御尋ニ致シマス

○山崎政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、其第四條ノ書方ガ、何カ計算シテ其計算ニ適合スルヤウニ條文ヲ後デ書イタヤウナ感ガアル、立法ノ趣旨ハドウデアアルカト云フコトデアリマス、固ヨリ法文ヲ作リマスニ、相當計算上ノ根據ハ求メナケレバナラヌカラ、計算ハ色々ヤツテ見タコトハ事實デアリマスガ、併シ此第四條ニ關係アル、殊ニ第一項ノ點ニナリマスルト、是ハ計算上ノ問題ト云フヨリモ、理論上ノ問題デアリマシテ、即チ第三條ニ於テ三分ノ一ヲ除イテ、即チ三分ノ二ヲ市及町村ニ分配シ、残り三分ノ一ヲ大體町村ニ分配スル、斯様ニ方針ヲ立テマシタ結果、市ノ或ルモノト町村ノ或ルモノトノ間ニ非常ナ不權衡ヲ生ズルノデソレヲ何等カノ方法ヲ以テ不權衡ヲ緩和スル必要ガアツタデアリマス、其緩和ニ付テハ、其限度ヲドウ云フ限度ニ緩和スレバ宜イカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌガ、其限度ハ町村並ニナルト云フコトガ即チ限度デアアル譯デアリマスカラ、從ッテ第三條ニ依ッテ各市ノ受ケル金額ノ二分ノ一以內ノ貧窮ナル市ニ對シテ増加致シマスレバ、ソレガ即チ最高町村迄ノ救済ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、ソレガ第一項ノ關係デアリマス、ソレカラ第二項ノ十五分ノ一ト云フコトガ、少シ機械的ニナルノデアリマスガ、是ハ後ノ表ヲ能ク御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯、二十萬圓ヲキツチリ

缺デ切ツタヤウニ出シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ假リノ計算デアリマシテ、此表デ御覽ニナル第三條ニ依ッテ受ケル金ガ三十四萬五千七百七十圓ト云フモノガ市ノ受ケル——第一次ニ受ケル金デアリマスガ、ソレノ十五分ノ一ハ約二十二萬圓ニナル、此處ニ二十萬圓ト學ガマシタノハ是ハ假定ノ計算デアリマシテ、十五分ノ一ハ二十二萬圓位ニナル、然ラバ二十二萬圓ナリ二十萬圓ハ、何デ計算シタカト云フコトガ第三ノ問題ニナルノデアリマスガ、ソレハ今日八十餘ノ總テノ市ノ數デアリマシテ、正確ナル計算ヲヤツタ結果、町村ノ中ノ所謂大町村——市ニ匹敵スベキ人口三万以上位ノ町村ノ平均ノ資力以下ノ市ヲ選定致シマシテ、其市ヲ又三階級位ノ資力ノ程度ニ依ッテ區別致シマシテ、五割以內即チ二分ノ一以內ノ増加金ヲ計算致シマスルト、大體今日デハ八十八萬圓ノ特別ノ金ガアレバ、町村トノ權衡ヲ緩和スルコトガ出來ル計算ニナル、併シ之ヲ十七八萬圓ニ注文ニ依ッテ限定スルコトハ窮極デアリマスカラ、十五分ノ一即チ約二十二萬圓ト云フ多少裕取リヲ取リマシテ、十五分ノ一以內ヲ限ッテ、市ニ對スル交付金ニ充テルコトガ出來ル、斯様ニ致シタ譯デアリマス、ソレカラ其次ノ御質問ハ、其十五分ノ一ノ金ヲ何故貧窮町村ニ對スル總額ノ十分ノ一ノ四百萬圓カラ取ラナカッタカト云フ仰セデアリマスガ、左様ニ致スコトモ一案デアアルカ知レマセズガ、併ナガラ元々三分ノ二ヲ控除シタル殘額ノ三分ノ一ト云フモノハ、現行法デ申シマスレバ、市及町村全部ニ行ク金デアリマス、ソレヲ大體今度町村ノ方ニ全部ヤツテシマフ、斯ウナツタ結果、起ル市トノ不權衡ヲ救済スル爲デアリマスカラ、矢張町村ニ充テル豫定ノ三分ノ一ト云フモノカラ取ル方ガ理窟トシテハ正シクナイカト云フ考デ、此案ノヤウニ三分ノ一カラ市ニ對スル特別増加金ヲ控除スルト云フ案ニシタ次第デアリマス、是ハ何モ十分ノ一ノ方カラ取ッテ行カナイト云フコトモアリマセズケレドモ、理窟ハ矢張三分ノ一ノ方カラ控除スルノガ相當デアアルマイカト、起案ヲ致シマスルニ付テハ考ヘタ次第デアリマス

○樋口委員 其點ニ付テ御尋ネ致シマスガ、今ノ四百萬圓中カラ二十萬圓ヲ控除シテ置イテ、貧窮町村ニ配當スル場合、残り三分ノ一カラ是ダケヲ引去ラテ置イテ、一般ノ貧窮町村ト云ハズニ、一般ニ配當スルノト、何レガドレ位ノ差ヲ生ジマスカ、僅二十萬圓デアリマスガ、効果ノ多少ニ關係シマスカラ御尋ネ致シマス

○山崎政府委員 ソレハ大シタ差ハアリマセズ、其計算ハ持ッテ居リマセズガ、何程ノ事モアルマイト思ヒマス

○樋口委員 念ノ爲メ表ヲ頂ク時ニ計算シテ頂キタイ

○高田委員 私ハ希望ガアリマス、細目ニ付テハ後ニ御尋

シタイト思ヒマスガ、樋口サンカラ御話ガ出マシタカラ、御調ベニナル所ノ市ニニ様ニスルト云フコトハ、詰リ大都市デナク、小サナ市ニ對シテ特別ノ町村ト同ジ待遇ニスルコトデアラウト想像シマスガ、ソレハ何ニ依ッテ出ルカト云フト、要スルニ市ノ全體ニ對スル教育費ノ負擔ノ程度如何ト云フコトカラ、市ノ小サナモノヲ町村ト同ジ待遇ニスルトト云フ意味デアラウト思ヒマス、サウスルトソレヲ判斷スル爲ノ材料トシテ、國中全部ノ市費ノ總額ニ對スル教育費ノ割合ヲ調ベタモノガアラウト思ヒマスカラ、參考ノ爲メ次回迄ニ御廻シテ願ヒマス、モウ一ツハ、ドウ云フモノカ分リマセスガ、兵役年限短縮ニ對シテ、陸軍大臣ガ相當ノ案ヲ立ッテ既ニ文部當局ニモ御内談中デアルト申シマスレバ、吾ガ此義務教育費國庫負擔法ヲ審議スルニ當ッテハ、此兵役年限短縮ト直接關係ハアリマセヌケレドモ、經費其他ニ付テ間接ニ關係ガ色々アル、是ハ見様ニ依ッテハ聽キタイト思ヒマスカラ、若シ願ヘマスコトナラバ、委員長ニ於テ陸軍大臣ニ御交渉ノ上、次回デモ其次デモ宜シウゴザイマスカラ、陸軍當局者ニ兵役短縮ヲナス爲ニ、國民教育ニ向ッテ要求スル或ル程度ノモノハアルト思ヒマス、又果シテ今日朝日新聞ニ出タ通りデアルヤ否ヤ、是等ニ付テ吾々モ一日モ速ク伺ッテ置キタイト思ヒマスカラ、委員長カラ陸軍當局ヘ御交渉ヲ御願シタイト思ヒマス

○田中委員長 只今御要求ノ事ハ委員長カラ當局ニ御相談ヲ致シテ見マス

○樋口委員 高田君ノ問題ト聯關シテ居リマスガ、陸軍ノ案ハ確定案デモナイノデアリマス、既ニ御交渉ガアッタトスレバ、此次ニハ陸軍ノ方ノ御出席ヲ願ッテ、此處デ併セテ聞イテ置キタイト思ヒマス、尙ホ文部當局ニ御注意申上ゲタイノハ、陸軍ノ今度ノ整理ハ、餘程變ナ事デ、自分ノ方デヤルベキ事ヲ他處ノ方デヤラシテ居ル、陸軍ノ教育ヲ文部省ニ委譲スル、言葉ハ結構デアリマスガ、近頃流行ッテ居ル地租委譲ノヤウニ、無制限ニ委譲サレテモ、非常ニ厄介デアリマスカラ、是ハ能ク御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中委員長 ソレデハ本日ハ此位ニシテ、明日速記ニ差支ナイ限り、午後一時カラ開會スルコトニ致シマシテ、本日は是デ散會致シマス

午後四時十二分散會